

福岡県  
教育要覧

—平成22年度の実績—

福岡県教育委員会

# 目 次

## 第1部 教育施策

第1節 福岡県の教育施策	1
第2節 教育行政の動き	13
第3節 教育委員会の事務の管理・執行状況の点検・評価	14

## 第2部 教育行財政

第1節 教育委員会	21
1 教育委員会委員	
2 教育委員会の会議	
3 教育委員会の活動	
第2節 条例・規則等の制定・改正及び通達等	23
1 条例	
2 規則等	
第3節 事務局等組織機構	28
第4節 教育予算	31
1 県教育予算	
第5節 広報・広聴、調査統計	41
1 広報活動	
2 広聴活動	
3 調査統計	
第6節 教育文化表彰	42
第7節 福岡県教育文化奨学財団	45
1 教育文化事業	
2 科学教育事業	
3 奨学事業	
第8節 教育に関する公益法人及び公益信託	46
1 公益法人	
2 公益信託	

第9節 審議会等の議事概況	47
---------------	----

### 第3部 学校教育

#### 第1章 教育の概要

第1節 現状と課題	49
-----------	----

- 1 小学校、中学校及び幼稚園
- 2 高等学校
- 3 中高一貫教育校
- 4 特別支援学校

第2節 小学校、中学校及び幼稚園	52
------------------	----

- 1 小学校、中学校
- 2 幼稚園

第3節 高等学校及び特別支援学校	58
------------------	----

- 1 高等学校
- 2 特別支援学校

第4節 中高一貫教育校	71
-------------	----

第5節 学校の設置及び廃止等	71
----------------	----

第6節 高等学校進学者の受入れ	72
-----------------	----

第7節 県立高校教育改革の推進	72
-----------------	----

第8節 教育力向上福岡県民運動の推進	73
--------------------	----

- 1 教育力向上福岡県民運動推進会議の開催
- 2 教育力向上福岡県民フォーラムの開催
- 3 広報啓発活動の実施

#### 第2章 教育活動

第1節 教育指導の実際	76
-------------	----

- 1 研究指定・委嘱
- 2 中学生進路相談事業
- 3 道徳教育
- 4 生徒指導
- 5 キャリア教育
- 6 へき地教育

- 7 産業教育
- 8 国際理解教育
- 9 学校図書館
- 10 統計教育
- 11 情報教育
- 12 男女共同参画教育
- 13 環境教育
- 14 科学教育推進事業
- 15 発達障害児等相談支援事業

**第2節 付随的教育活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98**

- 1 福岡県教育文化奨学財団

**第3章 教職員**

**第1節 教職員の人事管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99**

- 1 市町村立学校教職員定数と人事異動
- 2 県立学校教職員定数と人事異動
- 3 教職員の服務
- 4 分限・懲戒処分
- 5 争訟事件
- 6 免許と資格
- 7 教職員等の研修

**第2節 教職員の健康管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 114**

- 1 健康診断
- 2 教職員の休職状況（新規休職者数一覧）

**第3節 教職員の給与・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 115**

- 1 給与改定
- 2 退職手当

**第4節 教職員の福利厚生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117**

- 1 公務災害等補償
- 2 教職員住宅
- 3 公立学校共済組合
- 4 教職員の財産形成貯蓄

## 第4章 学校施設・設備

### 第1節 小・中学校の施設整備状況・・・・・・・・・・・・・120

- 1 保有面積
- 2 文教施設整備等補助金

### 第2節 県立学校の施設・設備整備状況・・・・・・・・・・・・・122

- 1 校舎の維持、修繕
- 2 校地の整備
- 3 県立学校施設の整備

### 第3節 産業教育施設整備及びその他の設備の整備状況・・・・・・・・・・・・・123

- 1 産業教育振興法によるもの
- 2 理科教育振興法によるもの
- 3 高等学校の定時制教育及び通信教育振興法によるもの

## 第5章 教育研究

### 第1節 教職員の研究活動・・・・・・・・・・・・・125

- 1 教育研究団体の助成
- 2 教育研究・科学研究の奨励

### 第2節 県教育センターの事業・・・・・・・・・・・・・126

- 1 概要
- 2 調査研究事業
- 3 研修事業
- 4 情報処理教育生徒実習
- 5 教育相談
- 6 授業なんでも相談室
- 7 研究・研修についての広報普及

## 第4部 社会教育

### 第1節 現状と課題・・・・・・・・・・・・・137

- 1 現状と課題
- 2 平成22年度の重点的取組状況と成果

### 第2節 社会教育委員・・・・・・・・・・・・・138

- 1 県社会教育委員の会議

2	社会教育委員の研修	
<b>第3節</b>	<b>社会教育主事</b>	<b>140</b>
1	社会教育主事	
<b>第4節</b>	<b>社会教育事業</b>	<b>141</b>
1	青少年教育	
2	成人教育	
3	視聴覚教育	
4	社会教育施設が実施する学習情報提供事業	
5	調査研究事業	
<b>第5節</b>	<b>社会教育施設</b>	<b>152</b>
1	公民館	
2	図書館	
3	博物館	
4	県立社会教育総合センター	
5	県立英彦山青年の家	
6	県立少年自然の家「玄海の家」	
7	福岡県青少年科学館	
8	県立ふれあいの家	
9	県立図書館	

## 第5部 文化

<b>第1節</b>	<b>現状と課題</b>	<b>179</b>
1	現状と課題	
2	平成22年度の重点的取組状況と成果	
<b>第2節</b>	<b>子どもの文化普及事業</b>	<b>181</b>
1	文化庁の事業	
2	県の事業	
3	福岡県教育文化奨学財団の振興事業	
4	その他の事業	
<b>第3節</b>	<b>県立美術館の事業</b>	<b>185</b>
1	県立美術館	

**第 4 節 文化財保護** . . . . . **189**

- 1 文化財保護審議会
- 2 文化財の指定
- 3 文化財の管理
- 4 大宰府関連史跡の環境整備事業等
- 5 文化財愛護思想の普及
- 6 埋蔵文化財の発掘調査
- 7 銃砲刀剣類の登録
- 8 文化財保護に対する助成
- 9 九州歴史資料館

**第 6 部 体育・スポーツ及び健康教育**

**第 1 節 現状と課題** . . . . . **204**

- 1 現状と課題
- 2 平成 22 年度の重点的取組状況と成果

**第 2 節 学校体育** . . . . . **206**

- 1 学校体育指導者の研修

**第 3 節 スポーツの振興** . . . . . **208**

- 1 競技スポーツ振興事業
- 2 スポーツ施設
- 3 福岡県スポーツ振興審議会

**第 4 節 健康教育** . . . . . **214**

- 1 保健・安全・給食教育
- 2 健康増進特別事業
- 3 健康教育推進事業（性と心の健康相談）
- 4 性に関する教育（エイズ教育）の推進

**第 5 節 児童生徒の健康管理及び環境衛生** . . . . . **225**

- 1 県立学校児童生徒心電図検査実施状況
- 2 感染症（インフルエンザ様疾患）
- 3 学校環境衛生

**第 6 節 県体育研究所の事業** . . . . . **226**

1 調査研究事業

2 研修事業

**第7節 付随的健康教育活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 230**

1 (財)福岡県学校保健会

**第7部 人権教育**

**第1節 現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 232**

**第2節 学校教育における人権教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 233**

1 教職員研修事業(学校教育関係)

**第3節 社会教育における人権教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 244**

1 県費補助事業

2 職員研修事業(社会教育関係)

3 その他の事業

**資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 254**

1 刊行物一覧



# 第1部 教育施策

## 1

県教育行政の施策を広く県民に知らせるとともに、市町村の教育行政の推進に資するため、毎年度、「福岡県教育行政の目標と主要施策」を発行してきました。平成18年度からタイトルを「福岡県の教育施策」に変え、今日的課題に即した施策の柱を立て、それに対応する主要施策や主な取組を簡潔に掲載し、教育行政の推進に努めています。

平成18年12月に定められた新しい教育基本法は、教育の目的を、「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者」としての国民の育成を期することとし、この目的を実現するために5つの目標を掲げています。

今日の我が国の社会は、都市化、少子高齢化、経済的な豊かさの実現等その成熟化が進行する中で、家庭や地域の教育力が低下し、個人が明確な目的意識をもたなくなったり、何かに意欲的に取り組むことが少なくなったことなどが指摘されており、子どもの教育に関しては、学ぶ意欲の低下や体力の低下、問題行動の多発など様々な課題が顕在化してきたことから、こうした諸課題を克服すべく、新しい教育の目標が定められたものです。

こうした中、特に、本県では、子どもの学力や体力の現状に関する「全国学力・学習状況調査」や「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が全国状況に比べ、ともに低いことが明らかになりました。県教育委員会では、この結果を真摯に受け止め、学力や体力の向上を本県教育の最重要課題として位置づけ、学力については、「福岡県学力向上新戦略」に基づき、市町村教育委員会と協働して各学校の取組を支援する様々な方策を進めており、体力については、上記調査を全校で実施するための取組や調査結果の分析に基づく新たな体力向上方策を策定し、推進していくこととしております。

他方、平成20年8月の教育力向上福岡県民会議からの提言「福岡の教育ビジョン」では、現在の子どもが抱える本質的な課題を「学ぶ意欲の低下」、「自尊感情の低下」、「規範意識の低下」、「体力等の低下」の4つに整理し、その解決を図るために、「福岡がめざす子ども」を「志をもって意欲的に学び、自律心と思いやりの心をもつ、たくましい子ども」と設定した上で、「実体験を重視した教育の推進」をはじめとする6つのアクションプランが提示されました。県教育委員会としては、これらを推進することが、学力や体力の向上のための諸施策を実効あるものとするための基盤となるものと考え、今後、教育力向上福岡県民運動を県民の総意として幅広く展開していくこととしております。

本県では、新しい教育基本法の目標を基本に据えながら、「福岡の教育ビジョン」に示された「福岡がめざす子ども」の姿を明確に織り込む形で、教育の基本目標を次のように定めました。



これらの基本目標を達成するための具体的な施策として、学校教育、社会教育、家庭教育、文化、スポーツ及び人権教育等の分野における様々な教育施策がありますが、これらを体系化し、効果的かつ効率的に推進するため、次のように教育施策を6つの柱に整理しました。



この6つの柱は、福岡県の教育の基本目標を具現化するための30の主要施策から構成されており、さらに、主要施策には、これを実現する方法、手段として、重点的に取り組む事業を含む、128の主な取組、事業を掲げています。

今日の教育をめぐる様々な課題や社会の変化を踏まえると、個人が幸福で充実した生涯を実現する上でも、また、国や地域社会が発展する上でも、その礎となるのは人づくり、すなわち教育をおいてほかにありません。

県教育委員会では、こうした認識に立って、多様化する今日的な教育課題の解決に向けて、全力で取り組んでまいります。

基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成、学習意欲の向上などの確かな学力をはぐくむための施策を一層推進するとともに、児童生徒が望ましい勤労観・職業観をはぐくむようキャリア教育の充実を図ります。

このため、校長のリーダーシップ及び教員の資質・能力の向上、安全で快適な学校づくりを推進するとともに、学校の組織運営体制や指導体制の充実を図ります。

また、県立特別支援学校の整備計画に基づき、段階的に教育環境の整備を行うとともに、特別

支援教育の一層の改善・充実を図ります。

子どもたちが、志をもって意欲的に学び、自律心と思いやりの心をもってたくましく生きていくため、学校・家庭・地域が協働しながら「福岡がめざす子ども」を育成する教育力向上福岡県民運動を推進します。

また、いじめ、不登校、問題行動等諸課題の解決に向けた取組を通じて、児童生徒がいきいきと過ごせる学校づくりを推進します。

さらに、家庭や地域が中心となって推進している「青少年アンビシャス運動」等を学校と連携を図りながら推進し、家庭や地域の教育力向上を支援します。

県民が自由に学習機会を選択して学び、その成果を社会の中で生かすことができる生涯学習社会の構築に向け、「第二次福岡県生涯学習推進構想」を踏まえ社会教育の推進に努めます。

子どもたちの様々な文化活動を支援していくとともに、本県の歴史と伝統に培われた貴重な文化資源を県民共通の財産として永く保存・継承し、再生・活用する施策を推進します。

自ら運動やスポーツにかかわる心豊かなたくましい子どもを育成する学校体育・スポーツの充実を図ります。

また、スポーツによる自己実現の支援と県民を元気づけるトップアスリートの育成に努めます。

「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」に基づき、国の「人権教育・啓発に関する基本計画」及び「福岡県人権教育・啓発基本指針」を踏まえ、様々な人権問題の解決と、人権が尊重される社会の実現を目指し、学校教育及び社会教育を通して、県民が人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得できるよう、人権に関する学習を推進・支援します。

「福岡県学力向上新戦略」の下、確かな学力の基盤となる、基礎・基本の確実な定着を図るための指導を徹底します。

また、県内全小中学校において、国及び県による学力実態、学習状況及び市町村の学力向上の取組状況を調査するとともに、学力向上の全県的な取組を推進します。

個に応じた指導のための指導方法や指導体制の工夫・改善を行います。

また、個性や能力を引き出す様々な教育活動を推進します。

望ましい勤労観や職業観、職業に関する知識や技能を身に付け、目的意識をもって主体的に進路選択ができるよう、キャリア教育の充実を図ります。

国際化の進展、科学技術の発展、環境問題や少子高齢化及び情報化等が急激に進む中で、これからの社会を支える意志と実践力をもった児童生徒を育てる教育の充実を図ります。

Technology

Information and Communication

--

障害のある幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行うことにより、各自が自立し主体的に社会参加できる力を着実に育成することができるよう、特別支援教育の改善・充実を図ります。

教職員として備えるべき資質・能力を有した人材確保のため、採用試験の改善を行うとともに、教員の適切な評価及び効果的な配置を図ります。 また、校長のリーダーシップと教員としての使命感や社会性、専門的な知識・技能を高めるための研修の充実等、教員の資質向上を図るとともに、メンタルヘルス対策等、教員に対するサポート体制の充実を図ります。

安全で快適な学校生活を送れるよう、施設整備の充実を図るとともに、地域や関係機関と連携した学校内外の安全体制の整備・充実を図ります。 また、生徒の学ぶ意欲にこたえる奨学金事業を円滑に実施します。

生徒一人一人の多様な興味・関心、能力・適性、進路希望等に応じた望ましい教育を展開するための積極的な改革を推進するとともに、入学者選抜制度の改善・充実を図ります。

家庭や地域との連携・協力による学校づくりを推進します。  
また、保護者や住民の意向を把握し、学校運営に反映させるシステムづくりを推進します。

他人を思いやる心や、公共のためになることを大切にする心を身に付けることができるよう、教育活動全体を通じて、道徳性を養う心の教育の充実を図ります。

将来に対する目的意識や社会性、主体性等を培うための体験的な活動の充実を図ります。

性や心の健康問題、薬物乱用等、健康に関する現代的な課題に対応するとともに、学校安全や食に関する指導を充実することで、生涯を通じて健康で安全な生活を送ることができるよう、健康教育の充実を図ります。

生涯にわたる人間形成の基礎を培うため、家庭・地域社会と連携を図りながら、幼児教育の振興や子育てに関する学習機会の充実を図ります。

「福岡県子ども読書推進計画」に基づき、読書に親しむ態度の育成を図り、豊かな感性や創造力を育てる読書活動を推進します。  
また、図書館のネットワーク化を含む図書館機能の充実を図ります。

社会性や対人関係能力の育成を図るとともに、いじめ、不登校、暴力行為などの問題行動等の未然防止や早期対応に向け、一人一人に応じたきめ細かな指導や相談等が実施できるよう、生徒指導体制の充実を図ります。



基本的な生活習慣等の確立や、子どもが集まる地域の中の居場所づくりなどを推進するために、市町村、保育所、幼稚園、小・中学校、関係機関、P T A等関係団体との連携を強化し、学校・家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実を図ります。

夢や目標に向かって努力していくアンビシャスな子どもを育成するため、子どもたち自身による目標設定や、主体的な活動・取組を支援します。

県民の学習に対する意欲を高め、主体的な学習活動を支援するなど、社会教育活動の振興のため、関係機関、団体（P T A・子ども会等）との連携・協力体制の整備を図ります。

高度化、多様化する県民の学習ニーズにこたえるため、よりよい学習環境を提供します。

県民の学習ニーズに応じた学習機会の提供と学習成果の活用を促進します。

社会教育を振興する県立社会教育施設の機能充実と利用促進を図ります。

次代を担う子どもたちの創造性をはぐくみ、多様な個性と豊かな人間性の形成を図るため、関係機関との連携を強化しながら、子どもの文化芸術活動を推進します。

県立美術館の機能充実に努め、県民の鑑賞・創作活動の促進を図るとともに、新しい県立美術館の具体的な整備の方針を検討します。

歴史と伝統に培われた貴重な文化資源を永く後世に伝えるため、福岡県文化財保護基本指針を踏まえ、保護活動の充実を図り、情報提供の充実や文化財に対する理解を深める施策を推進します。

地域の文化や特色を伝承する民俗芸能や伝統工芸の保存・継承・活用を図るとともに、大宰府関連史跡を始めとする重要大規模遺跡等の保存・整備・活用を進めます。

子どもたちの体力低下傾向に歯止めをかけ上昇に転じさせるため、幼児期からの外遊びや学校における体育・スポーツ活動の充実を通して、子どもの運動への動機付けを図り、習慣化を促す取組を推進します。

子どもたちの体育・スポーツ活動を支える人材の確保・活用を図ります。  
また、トップレベルのスポーツに触れる機会の確保・拡充を図るなど、子どもたちの体育・スポーツ活動を豊かにする体制づくりを推進します。  
さらに、我が国の伝統文化である武道に触れる機会の確保や指導者の資質向上を図ります。

県民に夢や感動を与えるトップアスリートを育成し、本県の競技力向上を図るため、関係機関・団体と連携して一貫指導システムの構築を推進するとともに、指導者の資質向上やスポーツ情報の活用促進等に取り組みます。

学校の教育活動全体を通して、計画的、効果的な人権教育を推進し、人権に関する知識や態度、実践力を身につける教育を推進します。  
また、一人一人の学力と進路の保障を目指した取組の充実を図ります。

県民の人権尊重理念の理解・体得のために、体験活動を重視した学習プログラム等の開発や、情報提供を行います。

また、地域の実情に応じた人権教育推進のための担当者研修会や指導者の育成を計画的、効果的に行い、人権尊重のまちづくりを支援します。

## 2

平成 22 年度における教育行政の動きは、次のとおりです。

月	内 容
4 月	新特別支援学校の開校（3校：古賀特別支援学校、柳河特別支援学校、築城特別支援学校） 福岡・長崎・山口三県水産系高等学校実習船「海友丸」共同運航開始 不登校児童支援事業の実施 福岡県市町村教育委員会委員長・教育長会議 全国学力・学習状況調査の実施
5 月	学校給食九州ブロック研究協議会
6 月	福岡県学力実態調査の実施 第 55 回九州地区高等学校長定時制通信制教育振興総会・研究協議会福岡大会 高校生理数能力向上事業の実施（理数オリンピックコンテスト）
7 月	教育力向上福岡県民運動推進会議
8 月	第 10 回全国中学校総合文化祭福岡大会 第 58 回全校高等学校家庭クラブ研究発表大会 九州地区高等学校農業教育研究大会・第 56 回全国高等学校農場協会九州支部大会 学校活性化人材育成事業（スーパーセミナー合宿）の実施 国民体育大会第 30 回九州ブロック大会
10 月	高校生理数能力向上事業の実施（理数オリンピックセミナー）
11 月	九州歴史資料館の小都市移転開館 第 49 回全国学校体育研究大会福岡大会（福岡市他） 教育委員管内視察（小倉商業・八幡工業）
1 月	「県立学校における情報セキュリティの確立に向けた取扱方針」策定
2 月	スポコン広場福岡県大会
3 月	平成 22 年度福岡県教育文化表彰表彰式 平成 23 年度県立高等学校入学者選抜学力検査 平成 23 年度県立高等学校入学者選抜合格者発表 「社会教育の充実に向けた今後の連携方策について（審議のまとめ）」 <span style="float: right;">（福岡県社会教育委員の会議）</span>

### 3

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、平成 20 年 4 月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとなりました。この点検・評価は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、教育行政の推進状況に関する県民への説明責任を果たすことを目的としています。

平成 22 年度の点検・評価は、平成 21 年度の「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」について実施し、このうち、「教育施策の推進状況」については、「平成 21 年度福岡県の教育施策」に掲げられた主要施策を点検・評価の対象としました。

また、点検・評価結果は、教育委員会の議決を経て、平成 22 年 9 月県議会に点検・評価報告書を提出し、報告しました。

平成 22 年度点検・評価報告書の概要は次のとおりです。

#### I 点検・評価の趣旨・根拠等

- 趣旨：効果的な教育行政の推進に資するとともに、教育行政の推進状況に関する県民への説明責任を果たす。
- 根拠：地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条（平成 20 年 4 月施行）
- 要件：①教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、公表する。  
②点検・評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用する。

#### II 点検・評価の対象及び実施方法

- 点検・評価対象：平成 21 年度における「教育委員会の活動状況」及び「教育施策の推進状況」。なお、「教育施策の推進状況」の点検・評価については、「福岡県の教育施策」に掲げられている主要施策を対象とする。
- 点検・評価の方法：主要施策を構成する取組・事業及び教育庁の所掌事務の推進状況についての点検・評価を通じ、主要施策自体について点検・評価を実施する。

#### III 教育委員会の活動状況の概要

- 1 教育委員会の主な活動実績
  - (1) 教育委員会開催実績
    - ・定例会 12 回、臨時会 10 回、委員協議会等 18 回開催（総計 40 回）
  - (2) 教育委員会会議以外の活動
    - ・学校訪問延べ 18 回、各種行事への出席延べ 9 回、県議会への出席延べ 11 回

## 2 活動の評価

### (1) 教育委員会会議について

- ・ 事前送付の資料等で理解を深めて会議に臨み、積極的に臨時会を開催し、活発な議論を行った。
- ・ 重要事項等について、必要に応じて事前に委員協議会（勉強会）を実施し、情報収集に努めた。
- ・ 県民の視点に立った議論に留意し、議案承認の場合でも、事務局に対し施策の改善点等を明確に提示した。
- ◇ 今後、重要案件については、さらに十分な時間をかけて委員協議会（勉強会）を実施する等の改善を図る。

### (2) 教育委員会会議以外の活動について

- ・ 学校行事をはじめ各種行事への積極的な出席に努め、教育現場の実態把握、関係者と情報交換等を行い、地域の実情に応じた施策展開のために情報収集に努力した。
- ◇ 今後、視察回数の拡大や情報交換の充実に取り組んでいく。

### (3) 教育委員会活動の情報発信について

- ・ 開催日時、議題、議決結果等について定期的に報道発表を実施した。
- ・ 県のホームページに教育委員会の開催日や議題等の情報の掲載をするとともに、傍聴制度について広報を行った。
- ◇ 今後、教育委員会活動が県民により一層理解されるためには、更なる情報発信が求められており、活動状況の公表など、ホームページの充実に努めていく。

## IV 教育施策の推進状況の概要

### 柱1 確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実

【施策の主な取組状況】	【評価・課題】
○「ふくおか学力アップ推進事業」の実施 <u>小・中学校での取組</u> ①全国学力・学習状況調査、福岡県学力実態調査の実施 ②学力向上プランの作成 ③学力向上をめざす授業づくりや授業力を高める教員研修 ④習熟度別、少人数指導等の実施 <u>市町村・学校支援の取組</u> ①学力向上推進強化市町村（14市町村）への支援 ②学力向上支援チームの派遣（延べ864回）	○平均正答率の地域間の差がみられることが課題であり、また、家庭における生活習慣の確立や学習習慣の定着が、学力向上の要因の一つであることが明らかになった。 ○「ふくおか学力アップ推進事業」において、支援チームの派遣等を実施したことにより、市町村、学校が学力向上に向けて主体的に取り組むことができた。今後とも、調査結果を有効に活用し、取組の一層の改善を図り、市町村、学校への支援を引き続き実施する。

【施策の主な取組状況】	【評価・課題】
○「いきいき体験活動推進事業」を中学校114校で実施し、5日間の職場体験やボランティア活動等を通して、生徒の望ましい勤労観や職業観の育成を支援 ○「県立工業高校産業人材育成事業」を工	○小・中・高等学校における職場体験やインターンシップ等の実施により、児童生徒の望ましい勤労観や職業観の育成や主体的な進路選択の充実に努めることができた。

業高校 12 校で実施し、先端技術と実践的なものづくり技能を持った人材を育成	○今後は、地域や産業界との連携体制を強化し、体験活動の充実や産業人材育成の向上を図りながら、キャリア教育を充実させる。
--	---

【施策の主な取組状況】	【評価・課題】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「発達障害児等相談支援事業」、「特別支援学校就職促進事業」、「特別支援学校医療的ケア体制整備事業」等を実施</li> <li>○「県立特別支援学校の整備に関する計画」に基づき、設立準備室の設置や対象校の校舎整備の実施設計・改築工事等を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の教育的ニーズや社会的自立を図るために、相談事業、就職促進事業を実施し、特別支援教育の指導、支援体制の改善・充実に努めた。</li> <li>○今後は、特別支援教育コーディネーターの育成や活用の充実を図るとともに、就職促進のために、職場開拓や就職意欲の向上に努め、社会的自立の支援に取り組む。</li> <li>○県立特別支援学校については、整備計画を着実に実施し、児童生徒の教育環境の一層の改善を図る。</li> </ul>

【施策の主な取組状況】	【評価・課題】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○教員採用試験の透明性を高める取組の実施</li> <li>○教員の自己評価及び業績評価の実施</li> <li>○優秀教員の表彰（31名）</li> <li>○指導が不適切な教員（8名）に対する指導改善研修の実施〔職場復帰3名、研修継続2名、退職2名、病気休職1名〕</li> <li>○副校長、主幹教諭、指導教諭を配置（小・中・高・特別支援学校470名）</li> <li>○教員の資質向上のため、経験年数や職務内容等に応じた基本研修等の充実</li> <li>○教員のメンタルヘルス対策として、複数の相談窓口を設置し、相談に応じるとともに、ストレスマネジメント研修を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○優秀な教員を確保するために、教員採用試験の透明性を高めるための改善に取り組んだ。受験者の信頼を確保するために、より一層の改善に取り組む。</li> <li>○教員の資質向上を図るために、人事評価者の評価能力向上、表彰を受けた優秀教員の処遇等の改善を行った。教員研修については、今後、国の動向を踏まえて、課題に応じた研修の整備や内容の充実に努める。</li> <li>○教員のメンタルヘルス対策のため複数の相談窓口を設置し、中堅教員や管理職を対象に研修を実施した。今後は、多忙化対策と併せた教員の勤務状況の改善のための取組を一層充実させる。</li> </ul>

【施策の主な取組状況】	【評価・課題】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○県立学校施設の計画的な耐震診断、耐震改修による耐震化を推進</li> <li>○市町村に対して、国庫補助制度等の積極的な活用による小・中学校施設耐震化の推進について指導</li> <li>○「子どもの命を守る学校安全体制整備事業」を実施し、教員の指導力向上を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県立学校については、計画的な耐震診断、耐震改修を実施した。引き続き平成27年度を目標に耐震化を推進し、併せて老朽化対策も進める。</li> <li>○市町村立学校については、国庫補助制度等の積極的な活用により耐震化が推進された。引き続き制度の周知を図り、耐震</li> </ul>



<p>学校安全に関する研修会や子どもの登下校中の見守り活動等を行うボランティア養成講座を開催</p> <p>○経済的な理由で高等学校への修学が困難にならないよう奨学金事業規模の拡大を図るとともに、奨学金制度の広報を実施</p>	<p>化の推進を指導する。</p> <p>○学校防犯体制については、防犯教室等の開催など、ほぼ全校で対策を進めた。今後、専門家による指導や参加体験型研修など、更なる学校防犯体制の充実を図る。</p> <p>○奨学金事業については、今般の経済・雇用情勢に鑑み、貸与に必要な予算の確保に努め、事業の円滑な実施に努める。</p>
---	---

**柱2 豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進**

【施策の主な取組状況】	【評価・課題】
<p>○「小学生集団宿泊事業」(小学校異学年による4泊5日の長期集団宿泊体験活動)を12市町村の20小学校で実施</p> <p>○「県立学校集団宿泊体験事業(克己心育成のための宿泊体験)」を全県立高等学校等の1年生を対象に実施</p> <p>○「通学合宿推進事業」(下校から登校までの日常的な生活技術習得のための集団宿泊体験活動)を85の小学校区で実施</p>	<p>○宿泊体験活動を通じて、自主性やリーダーの自覚が芽生えはじめた等の効果があり、今後、「ふくおかモデル」(集団宿泊の手引)を作成・配布し、集団宿泊体験活動の普及を図る。</p> <p>○宿泊体験活動を通じて、高校生活への適応や規範意識の醸成等に効果があった。今後も、自分の限界を乗り越えようとする意欲や集団の中での協力・責任・奉仕の精神等を向上させる取組を推進する。</p> <p>○通学合宿を通じて、子どもに自主性や協調性が育まれるとともに、地域が子どもを育てる気運が高まる等の効果があり、今後も事業の拡充に努める。</p>

【施策の主な取組状況】	【評価・課題】
<p>○「いじめ・不登校総合対策事業」でのスクールカウンセラーの活用等による、いじめ・不登校問題等の未然防止や相談体制の充実</p> <p>○「児童生徒の規範教育推進事業」で非行防止学習を実施</p> <p>刑法犯少年検挙補導人数  高 校 生…1,816人(2,078人)  小・中学生…2,868人(3,387人)  ( )は平成20年の人数</p>	<p>○いじめ、不登校については、依然として憂慮すべき状況である。今後とも、スクールカウンセラー等の一層の効果的な活用や相談体制の充実に取り組む。</p> <p>○刑法犯少年検挙補導人数は平成15年から毎年減少しているものの、全国的に見ると依然として厳しい状況にある。このため、非行防止学習を継続して実施するとともに、「ネットによる誹謗中傷・いじめ等防止」を学習テーマに追加し、外部の専門家等による講話等の実施を推進する。</p>

【施策の主な取組状況】	【評価・課題】
<p>○「“新”家庭教育宣言事業」をP T Aが中心となって、小・中学校 339 校で実施</p> <p>○「教育力向上福岡県民運動推進事業」を実施し、県民運動推進組織を設置するとともに、フォーラム開催や広報啓発活動を実施</p>	<p>○「“新”家庭教育宣言事業」の実施により、子どもたちの基本的な生活習慣が改善される等の効果があり、今後、県P T A連合会等と連携し、全てのP T Aや学校での取組を図る。</p> <p>○「教育力向上福岡県民運動」については、県民会議により提言された「教育ビジョン」を県民に理解してもらうため、フォーラムの開催やホームページ等による広報の充実に努めた。今後は、県民運動をより一層発展させるため、取組成果の検証・評価を行い、実効性を高める取組方法を提示する。</p>

### 柱3 生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進

【施策の主な取組状況】	【評価・課題】
<p>○N P Oやボランティア団体との連携強化を図る実践研究交流会等を実施</p> <p>○県立社会教育施設等で、N P O・ボランティア団体と連携・協力して、学習活動支援事業やボランティア研修を実施</p>	<p>○実践研究交流会等の実施により、関係者の広域的なネットワークが構築され、今後は、その成果を生かし、地域学習活動の活性化を支援する。</p> <p>○社会教育施設は、N P O・ボランティア団体にとって、活動や情報等の交流の場であり、施設の人的・物的機能を提供することで団体活動の活性化を図ることができた。今後、施設と団体の連携・協力をより一層深めるために、情報の提供や事業の共同実施等を行い、県民の学習意欲を高め、学習活動を支援する。</p>

### 柱4 特色ある県民文化の創造

【施策の主な取組状況】	【評価・課題】
<p>○常設展、企画展等を開催するとともに、インターネットや広報紙で情報提供を実施 美術館入館者数：172,425人 (20年度 130,579人)</p> <p>○「福岡県立美術館将来構想検討委員会」</p>	<p>○福岡県立美術館については、検討委員会の報告で施設の狭隘化、老朽化に伴う機能低下が指摘されている。その中において、県展、移動美術館展、企画展等の充実に努めている。今後は、検討委員会の報告を踏まえ、新しい県立美術館に求め</p>

で平成20年8月にとりまとめた報告を踏まえて、新しい県立美術館の整備について検討	られる独自性、現代性を備えた活動を展開するための整備検討に努める。
--	-----------------------------------

【施策の主な取組状況】	【評価・課題】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「九州邪馬台国ロマン発信事業」の実施</li> <li>○文化財保護基本指針の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財保護指導委員の巡視やシンポジウム・歴史講座等を実施する事業を通して、本県文化財の保護や普及の促進に努めた。今後は、策定された文化財保護基本指針を踏まえ、移転開館する九州歴史資料館を拠点施設として、保護活動の充実に努める。</li> </ul>

### 柱5 いきいきとしたスポーツライフの創造

【施策の主な取組状況】	【評価・課題】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ふくおか体力アップ推進事業」を実施（「スポコン広場」の活用推進、体力アップスポーツカードの配布、「体力向上のすすめ」及び「体力アップ福岡運動」の普及など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果、体力向上に係る学校の取組の実施率が全国平均に比べ、大きく下回っており、地域間の差があることが分かった。</li> <li>○「体力向上プラン」の作成等の体力向上の取組をより一層充実する。</li> <li>○「ふくおか体力アップ推進事業」の継続により、子どもたちの運動・スポーツに対する動機付けと習慣化を図る。</li> </ul>

【施策の主な取組状況】	【評価・課題】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「武道教育等充実事業」を実施（地域の武道師範を中学校69校に派遣、武道教育に係る教員研修・実践研究の実施）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学生が武道に触れるよい機会となり、学習後に「生徒が日常生活において礼儀正しくなった」等の評価を得た。</li> <li>○中学校における武道の必修化に向けて、指導者の確保や教員の指導力向上に努め、すべての中学校での武道学習の円滑な実施を図る。</li> </ul>

## 柱6 人権尊重精神を育成する教育の推進

【施策の主な取組状況】	【評価・課題】
<ul style="list-style-type: none"> <li>○校長をはじめとする職務に応じた研修や人権教育研修会を実施</li> <li>○「人権尊重の学校づくり推進指定校事業」を実施し、小・中・高校20校を指定</li> <li>○人権教育推進の方向性と取組を示した「福岡県人権教育推進プラン」の周知と活用の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権教育の指導方法・内容の工夫改善を行うとともに、「人権教育指導者用手引き」の活用により、「福岡県人権教育推進プラン」に基づく人権教育の一層の充実に努める。</li> </ul>

## V 学識経験者意見について

- ・ 教育委員会や教育委員の活動状況等についてアピールする必要があるとあり、県民の関心を喚起するためにも一層の情報発信の方法や内容の改善が求められる。
- ・ 学力向上の成果が上がっており、引き続き取組を進めるとともに、PDCAサイクルに則り、学力実態調査等の成果の精緻な分析をもとに学力向上の要因や条件を明らかにしていくなど、取組を深める必要がある。
- ・ 今後さらに、学校、家庭及び地域住民の相互の連携協力の推進等を視野に入れた積極的な取組の充実が求められる。また、社会教育のさらなる奨励も必要である。
- ・ 子どもの体力向上やスポーツ振興等については、福岡県らしい取組として、今後のさらなる振興が期待される。
- ・ 確かな学力の向上については一定の成果が上がっており、積極的に推進されている少人数指導や習熟度別指導と併せてその成果を検証しつつ、今後も重点的に施策を展開してほしい。
- ・ 信頼される教員の確保について、教員採用に係る改善は情報公開や透明性の観点から評価できる。教員の多忙化対策についても、取組による状況の改善が期待される。

2

1

22 10 22

22

(H23 3 31 )

			( )
( )		H15 10 17 (H22 10 22) H17. 7. 8 H19. 7. 19 H20 7. 16 H21. 8 1 H22 4 1	H23 10 16 (H23 10 16) H25 7. 7 H24 10 16 H24 7. 15 H25 7. 31 H26 3 31

22

21

46

24

17

5

22

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	1	1	0	1	0	1	1	0	0	1	1	2	9
	2	2	1	2	1	2	2	1	1	2	2	3	21

(1)

22 7 13 14

21  
23  
21  
22

2

23 1 24

23

23

23

(2)

22 6 1 2

(3) 15

22 10 27

2

22

		22 10 15	23 4 1
		22 10 15	23 10 15
	22 10 1	22 12 7	23 4 1
			23 1.1
		23 3 31	23 4 1

22 4 22	22 8			22 4 1
22 5 17	22 9			22 5 17
22 6 30	22 10			22 7. 1
22 10 1	22 11			22 10 1 23
22 10 1	22 12			22 10 1



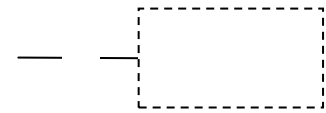
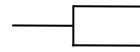
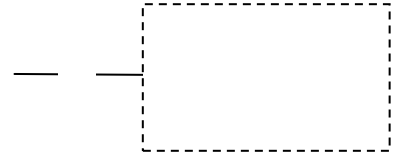
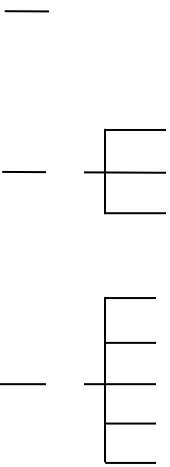
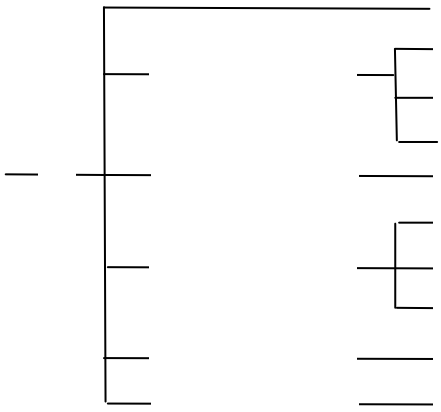
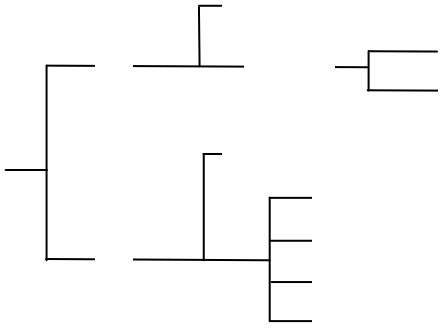
23 3 30	23  1		23 3 31  23 3 31	23 4 1
23 3 30	23  2			23 4 1
23 3 30	23  3			23 4 1
23 3 30	23  4			23 4 1

22 6 25	22 3			22 7. 1
22 6 30	22 4			23 4 1
22 8 4	22 5			22 8 4
23 3 25	23 1		25	23 4 1
23 3 30	23 2			23 4 1

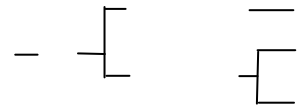
22 5 21	22 3			22 5 21
22 8 13	22 4			22 8 13
23 3 30	23 1			23 4 1
23 3 30	23 2			23 4 1







**3**



4

22

0.2%

93.1%

3,584 689

6 2,369  
21.5%

---

--	--	--	--

		29, 135	
		27, 686	
		44, 498	
		12, 895	
		161, 343	○
		18, 755	○ ○
		457, 487	
		4, 378	
		21, 357	
		2, 208	
○		60, 816	
		15, 231	
		85, 704	
		1, 916, 931	
		3, 761, 037	
		240, 662	20



		158,702	
		1,902,681	
		93,062	
		297,461	
	○	2,761	
		392	
		130,227	
		380,463	
		6,666	
		4,491	
		245,318	
		266,395	
	○	22,298	

科 目	予 算 額	議 決 状 況							
		当初予算	6月補正	9月補正	12月補正	1月補正	2月補正		
教育委員会所管予算額	358,406,889	351,672,245	0	412,469	△ 3,403,431	1,075,836	8,649,770	830,259	
教 育 費 計	358,349,656	351,672,245	0	354,007	△ 3,403,431	1,075,836	8,650,999	830,259	
内     訳	教 育 総 務 費	43,847,720	39,124,055	0	26,016	△ 66,085	243,596	4,520,138	2,135
	小 学 校 費	136,651,168	136,068,988	0	0	△ 1,594,094	0	2,176,274	0
	中 学 校 費	81,050,924	80,748,321	0	0	△ 900,271	600	1,202,274	0
	高 等 学 校 費	61,553,277	61,008,719	0	266,532	△ 564,088	322,215	519,899	689,891
	特 別 支 援 学 校 費	29,229,493	28,753,215	0	0	△ 270,344	156,556	590,066	80,389
	社 会 教 育 費	4,299,337	4,491,437	0	61,459	△ 3,984	114,479	△ 364,054	57,844
	保 健 体 育 費	1,717,737	1,477,510	0	0	△ 4,565	238,390	6,402	0
総 務 費	283	0	0	0	0	0	283	0	
災 害 復 旧 費	56,950	0	0	58,462	0	0	△ 1,512	0	
公 債 費	0	0	0	0	0	0	0	0	
( 参 考 ) 県 予 算 額	1,669,195,643	1,590,032,427	0	25,928,649	2,031,280	34,894,746	16,308,541	57,662,125	

22

21

(単位:千円)

	22 (A)	21 (B)	(A) - (B)	(A) / (B) %
10	358,349,656	359,002,143	652,487	99.8%
	43,847,720	38,203,987	5,643,733	114.8%
1	22,669	22,768	99	
2	3,337,000	3,355,265	18,265	
3	32,696,887	26,406,194	6,290,693	
4	6,494,021	7,000,493	506,472	
5	411,818	494,003	82,185	
6	736,015	760,414	24,399	
7	149,310	164,850	15,540	
	136,651,168	138,175,485	1,524,317	98.9%
1	136,651,168	138,175,485	1,524,317	
	81,050,924	81,335,443	284,519	99.7%
1	81,014,801	81,291,906	277,105	
2	36,123	43,537	7,414	
	61,553,277	65,499,302	3,946,025	94.0%
1	52,992,923	54,145,738	1,152,815	
2	3,411,903	3,763,919	352,016	
3	107,925	113,256	5,331	
4	148,213	199,976	51,763	
5	4,601,899	7,040,599	2,438,700	
6	6,956	7,156	200	
7	202,757	142,213	60,544	
8	80,701	86,445	5,744	
	29,229,493	28,798,462	431,031	101.5%
1	25,832,603	25,732,573	100,030	
2	700,812	610,791	90,021	
3	2,696,078	2,455,098	240,980	

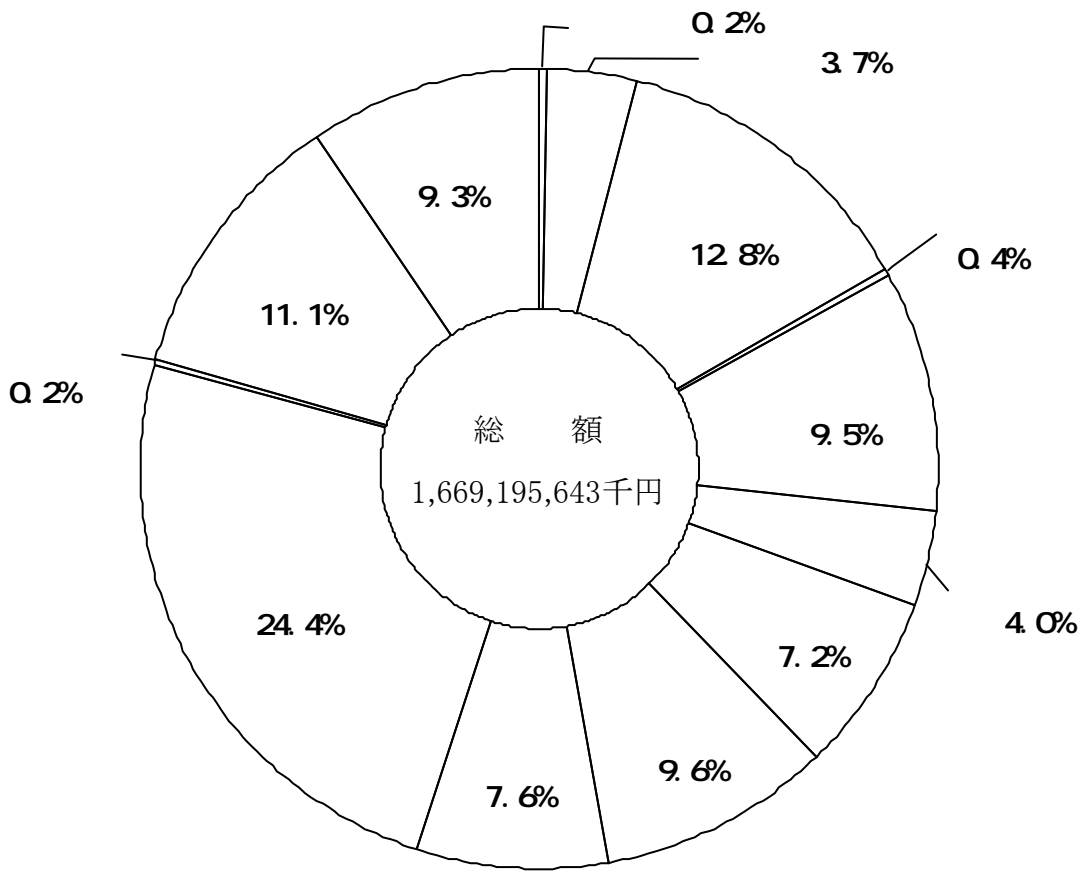
(単位:千円)

	22	21	(A) - (B)	(A) / (B) %
	(A)	(B)		
	4,299,337	5,420,806	1,121,469	79.3%
1	1,995,409	1,962,697	32,712	
2	628,108	558,056	70,052	
3	817,965	767,016	50,949	
4	469,462	1,806,616	1,337,154	
5	12,508	12,933	425	
6	92,972	90,066	2,906	
7	282,913	223,422	59,491	
	1,717,737	1,568,658	149,079	109.5%
1	761,484	568,020	193,464	
2	300,120	327,793	27,673	
3	656,133	672,845	16,712	
2	283	5,691	5,408	
	283	5,691	5,408	
10	283	5,691	5,408	
11	56,950	22,744	34,206	
	56,950	22,744	34,206	
1	-	2,651	2,651	
2	56,950	20,093	36,857	
12	-	-	0	
	-	-	0	
1	-	-	0	
	358,406,889	359,030,578	623,689	99.8%

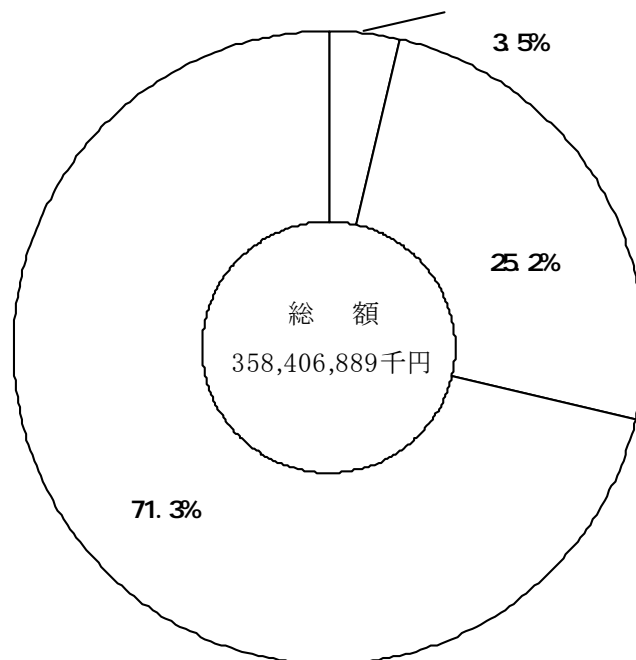
	40	40	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">}</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">}</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> </tr> </table>		1	2	3		}	40	40	40			1	2	3	4	}	40	40	40	40	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>5</td> </tr> <tr> <td>6</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> <tr> <td>9</td> </tr> <tr> <td>4</td> </tr> </table>	5	6	3	9	4
	1	2	3																										
}	40	40	40																										
	1	2	3	4																									
}	40	40	40	40																									
5																													
6																													
3																													
9																													
4																													
	21	25,605	6,426	(1,479) 3,060																									
	22	25,738	6,328	(1,518) 3,109																									
		133	28	( 39) 49																									

( )

22

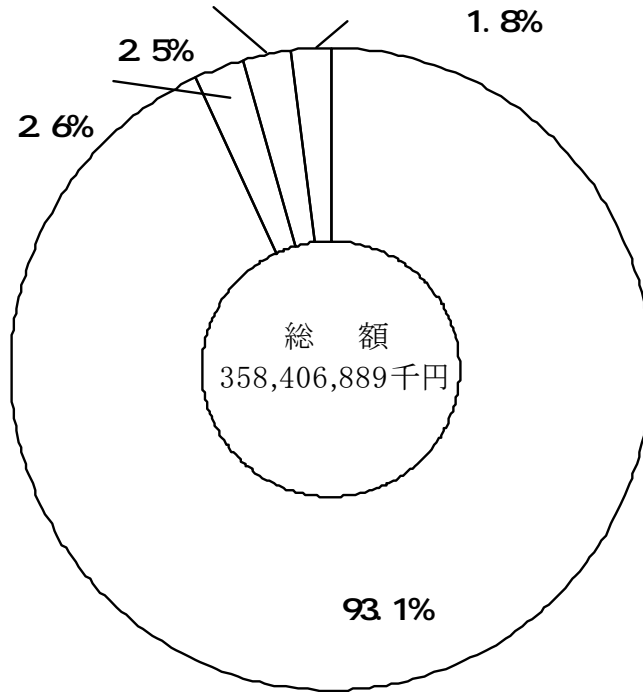


22

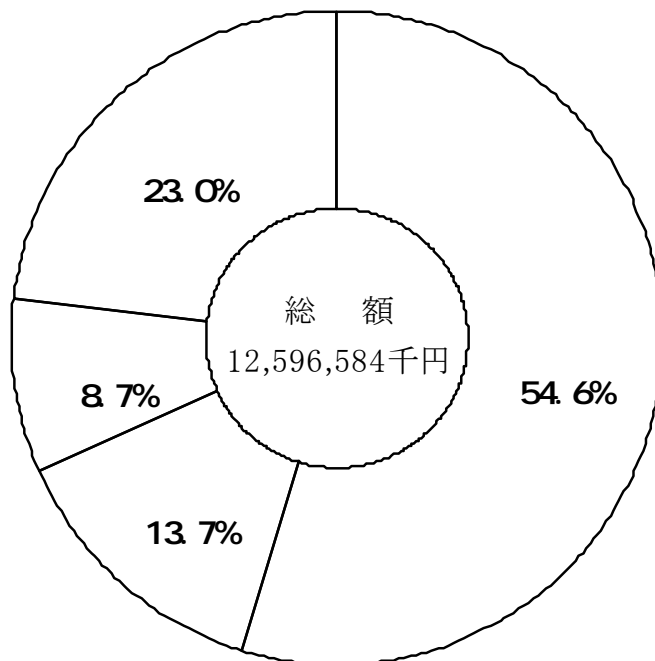


38

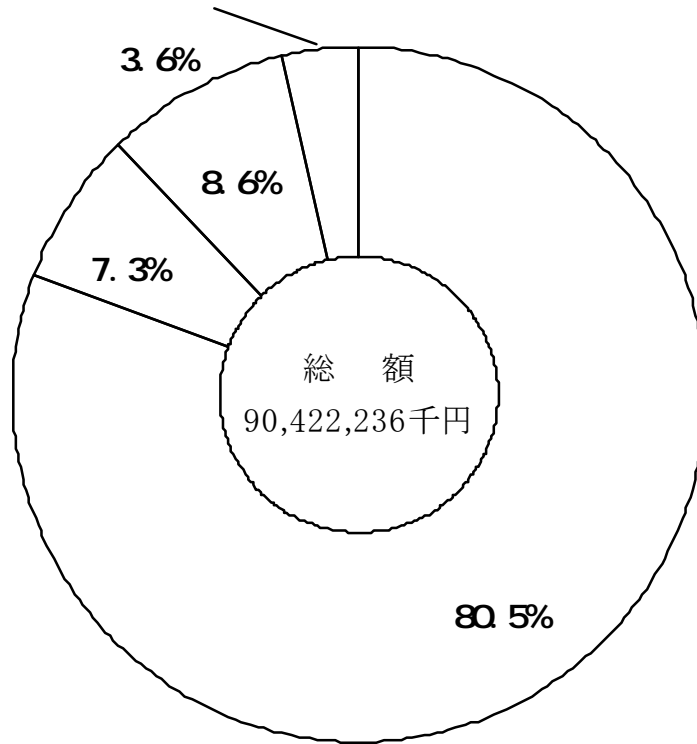
1



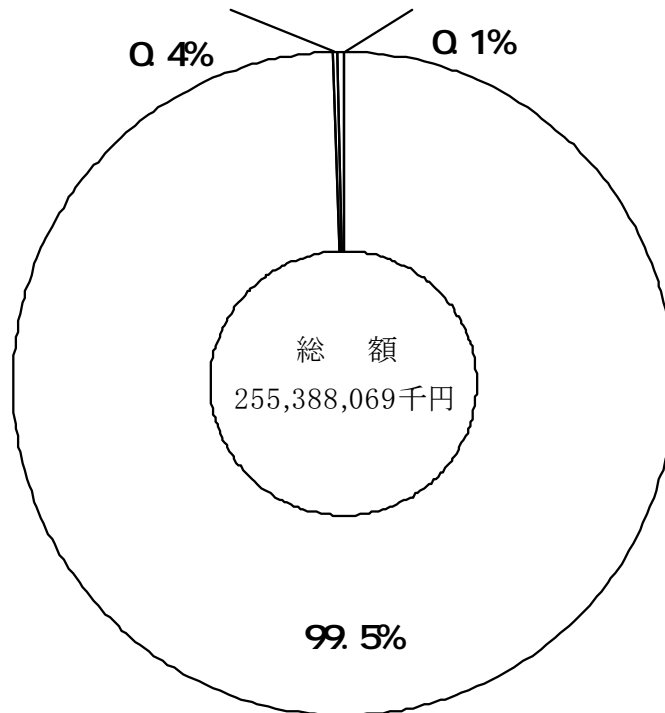
2



3



4





5

14

(1)

2

(2)

22

152

(3)

5

4

2

22

22

22

			22 4 1
			22 5 1
			21
			22 5 1

6

44

10

22

23 3 13

(1)

(2)

65  
65  
65  
65  
65

65  
65  
23  
23

(1)

(2)

(5)

奈

(6)

7

16 4 1

22

21

(1)

(2)

167 170

(1)

98

(2)

14 2

5

150

45

8

(23 3 31 )

	19	1	20
	38	7	45
	14	6	20
	39	0	39
	6	8	14
	116	22	138

		7
	1	1
		8

9

22

	11	21	22 4 1 23 3 31	
	20	1	22 3 25	
	20	1	22 4 21	9
	16	1	22 8 3	
	10	1	22 11. 1	
	10	1	23 2 24	22 23
	25	4	22 5 25 22 10 8 23 2 18 23 3 24	22
	10	1	23 2 15	
	14	1	22 7. 22	21 22 23

	15	1	22 12 2 22 12 3	21 22  22





2 高等学校

	94			92		21
1		22	5	1	75,921	10
23						65
	29					12
		13				
22				24,880	1,600	500
21		1,040				

3 中高一貫教育校

	16					
19						
		3		21		6

#### 4 特別支援学校

20 1

## 第 2 節 小学校、中学校及び幼稚園

### 1 小学校、中学校

(1)

5 1

	20			21			22		
	767(9)	10,458	285,231	766(9)	10,492	283,523	763(8)	10,561	281,109
	3	43	1,483	3	43	1,479	3	43	1,468
	757(9)	10,342	281,378	756(9)	10,373	279,651	752(8)	10,430	277,096
	7	73	2,370	7	76	2,393	8	88	2,545
	376(3)	4,562	143,925	376(3)	4,644	144,361	372(3)	4,626	143,245
	3	30	1,096	3	30	1,096	3	30	1,088
	346(3)	4,310	135,327	346(3)	4,395	135,843	342(3)	4,378	134,926
	27	222	7,502	27	219	7,422	27	218	7,231

(2)

22 5 1

	512	580	251	288	763	868
	10	11	9	9	19	20
	4	4	3	3	7	7
	15	15	6	6	21	21
	0	0	0	0	0	0
	250	269	113	119	363	388
	46	46	16	16	62	62
	837	925	398	441	1,235	1,366

2

(3)

(22 5 1 )

	1	1	0	0	0	0	1	1
	18	41	5	6	0	0	23	47
	11	22	3	5	0	0	14	27
	6	8	2	2	1	2	9	12
	35	45	13	14	0	0	48	59
	71	117	23	27	1	2	95	146

(4)

H22 7. 30 8 26  
H22 8 4 27

2 2  
12 20  
( )  
19  
5  
20

20 22

1		1 17 1 18 1 19	
2		4 26 30 5 6 7 8 8	
3		5 1	
		6 17 10 7	

2 幼稚園

18 10  
3 4 5  
6

(1)

87%

6

平成 22 年度 幼稚園の設置、就園状況

								( )				( )			
												3	4	5	
497	1	63	433	4,615	5	300	4,310	64,076	92	3,987	59,997	64,076	18,256	22,391	23,429
(1)			(1)												

1	22
45,268	52.8%

$$\frac{\quad}{1} \times 100$$

( 22 5 1 )

(2)

平成 22 年度 幼稚園関係事業実施状況

1	4 2	3	87	
2	6 17		44	)
3	8 4 8 6		243 297	
4	7 29 31		87	
5	10 6		38	( )
6	12 27	3	74	
7	1 21	3	43	
	2 4		13	<sup>22</sup> 23
	4 22		13	
10	4 27		4	10



(		8 4 8 6		243 297	
		8 17		115	
		8 2 8 25		87 87	
		12 14 15		11	
)	1	4 22		25	22
	2	2 4		26	22
		8 26		184	
		5 17 5 18		5	

### 第3節 高等学校及び特別支援学校

#### 1 高等学校

(1)

22

1

表1 平成22年度 高等学校の設置状況

	92	10	59	161
	21	2(2)	0	23(2)
	1	0	4	5
	2	0	9	11

1.  
2  
3

(22 5 1 )

2

表2 平成22年度 全日課程高等学校（公立）の学科別設置状況

	65	9	12	9	1	8	1	1		41	12	6	92
	6		1	5		1				7	1	1	10
	71	9	13	14	1	9	1	1		48	13	7	102

1.  
2

(22 5 1 )

(2)

22

3 4

(3)

21 3

21 6

21

24

22

21 3

20 1

74

30

25

22

24

(4)

6

1 ( 6 )

(5)

60

62 6

63 7

( )

( 7 )

2 3 6

3

15

10

14 3

(6)

4 2

2

表3 平成22年度 県立高等学校の学科別入学定員等

(

1		40	40	40	40	40	40	40	40		40	40	40	40	40	
		17,680	920	2,280	1,160	160	440	40	40		280	160	40	40	1,640	24,880
		442	23	57	29	4	11	1	1		7	4	1	1	41	622
1		40		40							40					
		1,400		80							120					1,600
		35		2							3					40
		19,080	920	2,360	1,160	160	440	40	40	120	280	160	40	40	1,640	26,480
		477	23	59	29	4	11	1	1	3	7	4	1	1	41	662

表4 県立高等学校志願状況

		a	(		(		(		(		(		(		(	
			b	b/a	c	c/a	d	d/a	e	e/a	f	f/a	g	g/a	h	h/a
21		47,657	(16,600)	46.2	(920)	2.8	(2,280)	5.9	(1,160)	3.2	(160)	0.4	(440)	1.3	(40)	0.1
			22,022		1,332		2,794		1,503		172		603		47	
22		49,254	(1,440)	3.8			(80)	0.1					(80)	0.1		
			1,809				65					60				
22		49,254	(17,560)	46.0	(920)	2.7	(2,280)	5.9	(1,160)	3.1	(160)	0.4	(440)	1.3	(40)	0.1
			22,635		1,335		2,921		1,513		191		623		35	
22		49,254	(1,440)	3.7			(80)	0.1					(80)	0.1		
			1,804				71					65				

(		(		(		(		(		(		(			
i	i/a	j	j/a	k	k/a	l	l/a	m	m/a	n	n/a	o	o/a	p	p/a
(40)	0.1			(280)	0.9	(160)	0.3	(40)	0.1	(40)	0.1	(1,560)	4.3	(23,720)	65.5
52				417		162		43		43		2,040		31,230	
		(120)	0.4											(1,720)	4.5
		211												2,151	
(40)	0.1			(280)	0.9	(160)	0.4	(40)	0.1	(40)	0.1	(1,640)	4.3	(24,760)	65.2
48				424		177		22		40		2,133		32,097	
		(120)	0.4											(1,720)	4.3
		180												2,120	

表5 平成22年度 類型設置状況(全日制)

		( )			
1	2	46	1	18	
	3	59	2	61	
	4	26	3	43	
	5	10			
		1			
13	2	31	1	4	
	3	12	2	21	
	4	4	3	3	
	5	2			
		2			

表6 平成22年度 習熟度別学級編成の実施校(全日制)

	1	2	3	( )
	62	73	69	204
	68	76	64	208
	35	59	57	151
( )	165	208	190	563

表7 平成22年度 県立学校関係研修事業

NO		(	
1	5 13 ( ) [            ] 6 9 ( ) [            ] 9 15 ( ) [            ] 11 22 ( )		
2	6 1 ( ) 9 16 ( ) 11 9 ( )		
3	11 17 ( )		
4	5 11 ( ) 7 21 ( )		
5	5 20 ( ) 21 ( )		
6	9 8 ( ) 10 5 ( ) 12 17 ( )		
7	4 14 ( ) 7 29 ( )		
8	7 8 ( ) 11 29 ( )		
9	5 11 ( )		
10	10 12 ( )		



NO			(	
16	2	6 23 ( ) 11 30 ( )		2
17	5	5 27 ( ) 6 16 ( ) 9 29 ( ) 10 26 ( )		5
18	1 0	5 19 ( )		1 0
		6 9 ( )		
		7 7 ( )		
		9 22 ( )		
		10 4 ( ) 5 ( )		
		10 13 ( )		
		11 24 ( )		
		12 8 ( )		
19	10	22		1 0
20		8 9 ( )		21 24
		8 10 ( )		
		8 11 ( )		
21	(	4 1 ( )		(
		2		
		4 27 ( )		(
		(12 )		
		4 23 ( ) 5 7 ( ) 5 21 ( ) 7 2 ( ) 7 23 ( ) 8 27 ( ) 9 10 ( ) 10 4 ( ) 11 12 ( ) 11 26 ( ) 12 10 ( ) 1 21 ( )		

NO			(	
22		4 16 ( )		
23		4 16 ( ) 6 29 ( )		

24

2 特別支援学校

(1)

(2251 )

	4	0	4
	5	0	5
	9	13	22
	5(1)	4	9(1)
	2	4	6
	25(1)	21	46(1)

(2251 )

	3	3	3	1	2
	4	4	4	1	1
	0	18	18	20	0
	0	9	9	8	0
	0	6	6	2	0
	7	40	40	32	3

(2251 )

	3	15( 5)	11( 4)	9( 3)	12	50( 12)
	15	34( 7)	18( 3)	11( 2)	5	83( 12)
	0	287(115)	222( 81)	257(60)	0	766(256)
	0	116( 90)	75( 53)	59(24)	0	200(167)
	0	20( 4)	23( 6)	6( 2)	0	49( 12)
	18	472(221)	349(147)	342(91)	17	1,198(459)

(2251 )

	( ) ( ) ( )	10	37	72	109
	( ) ( ) ( )	11	46	65	111
	( ) ( ) ( )	21	83	137	220

(2)

22

< >

(7 )

(156 )

7 8 9 ( 47 )

(3)

9 10

8

(4)

10

( )

22

表8 平成22年度 特別支援学校関係研修事業等

1			4 13	
2			4 20	
3			10 29	
4			6 4	
5			6 8	
6			8 6	
7	( )	( )	4 1	
		( )	4 27	
	( )		6 18 10 20	
			12	
			2	
8			7 8	
9			7 5 9	
10			8 27	
11			5 31 8 30	
12			6 15 7 29	
13			7 27 7 28 7 29 8 3 8 5 8 23 8 23 8 27 8 27 10 30	

表9 平成22年度特別支援教育関係長期派遣研修

	1		10
	2		6
	2		0
	2		0
	1		0

表10 文部科学省等主催事業など県外行事への派遣

	22 6 3			
	22 11. 24 26			
	22 11. 10			
	22 7. 20 23			
	22 8 5 6			
	22 11. 24 26			
	22 7. 26 27			
	22 11. 18 19			

#### 第4節 中高一貫教育校

22

1

表1 平成22年度 中高一貫教育校の設置状況


2

表2 平成22年度 県立中学校及び中等教育学校の入学定員等

	40	120	3	390
	40	120	3	310
	40	120	3	263

#### 第5節 学校の設置及び廃止等

4 1

5

2

平成22年度 公立学校設置廃止等一覧表

			H23 3 31	435-1	
			H23 4 1	280-1	
			H23 4 1	2296-4	
			H23 3 31	280-1	
			H23 3 31	1545-1	

			H23 3 31	40	
			H23 3 31	88-1	
			H23 3 31	58	
			H23 1. 1	1-145-1	( ) 1-111
			H23 4 1	228-4	( ) 58
			H23 4 1	206	( )
			H23 3 31	41-2	
			H23 4 1	41-1	( )
			H23 4 1	1-21	( )
			H23 3 31	2-6-1	

## 第6節 高等学校進学者の受入れ

## 第7節 県立高校教育改革の推進



## 第8節 教育力向上福岡県民運動の推進

22

### 1 教育力向上福岡県民運動推進会議の開催

(1)

30

(2)

19

### 2 教育力向上福岡県民フォーラムの開催

(1)

(2)

	12 11			438
	11 13		NPO	293
	2 6		NPO	439
	1 29			867
	2 6			357

### 3 広報啓発活動の実施

(1)

43

(2)

<http://www.fukuda-keminundou.jp/>

(3)

(4)

(5)

10



## 第2章 教育活動

### 第1節 教育指導の実際

#### 1 研究指定・委嘱

8 ( 6 )  
22 ( )

平成22年度 文部科学省及び福岡県教育委員会研究指定・委嘱校(園)等

	0	11	6	33	2
	0			0	0
	0	5	2	7	0
( )	14				
	(0)	(23)	(10)	(29)	(0)
	0	4	3	1	0

(1)

( )

0

11

1			2
2			

3	12		
4	25		

0


(2)

( ) 14

1			
2			
3			
4			
5			

(3)

25

23

10

29

1	(	2	1	3	1	
2	3	2	1	6	3	4 3
	2			1		3
3						
4		29				
5						

(4)

( )

4

3

1

1		
2		
3		
4		
5		

2 中学生進路相談事業

(1)

(2)

7 8 1

(3)

3 道德教育

14

10 13

( )

22

14

17

6

4 生徒指導

22

4,683

75.5%  
12,56

6,203

8

1,000



36

4,926

22

(1)

1

1

92

20

1

2

1,284

6

24

24

6

2

22

32

6

22  
34

22

41

21

(2)

22

平成 22 年度 生徒指導に関する研修会


(3)

22 6 13 6 29

22 6 25  
3



22 94

42,836

817

5,825

297

49,775

3

(

)

(4)

( )

22 5 11

2

22 4 23

22 5 27

22 6 1

22

22 6 28 7 2 5

5 2

1

1

1

6 へき地教育

35

			1	2	3	4	5	
	1	4	15	2	2	0	1	25
	0	0	7	1	1	0	1	10
	1	4	22	3	3	0	2	35

(H22 4.1 )

(1) 55

( 21. 4 1 22 3 31)

			1	

		22 8 3 8 6		1
		22 7.26 7.30		1
		22 8 2 8 4		1
		22 7.26 7.27		1
		22 8 23 8 28		1

		42	1		

( )

( )

1

( )

( )

6

		6 4 1 9 30	
		6 10 1 3 31	
		6 10 1 3 31	
		6 9 1 2 28	
		3 11 12 2 11	
		3 12 1 2 28	





8 国際理解教育

(1)

		11 1 11 12	6
		11 16 11 25 10 11 10 22	4 1
		11 15 11 26 11 15 11 26	5
		10 17 10 28	5
		10 11 10 22	2
		11 1 11 12	3
		11 15 11 26	1
		11 1 11 12	1
		11 3 11 13	2
		11 8 11 19 10 25 11 5	4 2
			36

(2)

(ALT)

	19	
	81 30	42 83

(3)

9 学校図書館

22

10

		6 10		
		7 20 8 2		(2 ) (2 )
		6 10		
		7 27 28		
		8 3 4		
		7 21		
		7 26		
		6 24		
		9 28		
		9 16		
		2 24		

5 6	1 26				
6 1	1 26				
5 6	2 4				3
					6
					8 2 3
5 4	1 30				
					4 1 1
					5 3 5
					11 10 5

10 統計教育

( )

(1)

( )  
 7 26 ( ) 27 ( )  
 ( )  
 ( ) ( ) )  
 6 17 ( ) 18 ( )

(2)

( 600 )

11 情報教育

B

22

		22
	10	210
	5	23
		332

12 男女共同参画教育

13 10 1  
13 17 18 22  
23 3 3  
3  
14

13 環境教育

4 3  
7 3  
6 1  
15 3  
) ( )  
17  
20

14 科学教育推進事業

19

JST

5

22	30	13	23	24	18	12	120
21	35	13	22	26	17	13	126
20	31	13	20	26	18	13	121
19	15	6	10	14	9	6	60

	1	2	3	4	5	6	
22	56	37	20	5	1	1	221
21	56	33	24	9	3	1	251
20	38	47	25	7	3	0	250
19	20	26	7	6	1	0	122

22	21	33	1	11	20	86
21	27	44	2	23	23	119
20	23	27	5	17	13	85
19	6	12	8	14	4	44



(1)  
(2)

22					
22	11	6		7	
	3,555				
21		3		18	3

15 発達障害児等相談支援事業

## 第 2 節 付随的教育活動

### 1 福岡県教育文化奨学財団

(1)

22

3, 117

17, 813

2

		3, 117	17, 813	2	
				50, 000	
				100, 000	
				( )	18, 000
				( )	23, 000
				( )	30, 000
				( )	35, 000
			6	( )	45, 000
			6	( )	51, 000
			6	( )	54, 000
			6	( )	64, 000

### 第3章 教 職 員

#### 第1節 教職員の人事管理

##### 1 市町村立学校教職員定数と人事異動

(1)

22

1

表1 平成22年度 市町村立学校教職員定数比較表

	21			22		
	(a)	(b)	(b) (a)	(a)	(b)	(b) (a)
	22,729	22,831	102	1,350	1,388	38
	1,154	1,149	5	37	37	0
	359	367	8	11	11	0
	1,246	1,274	28	69	70	1
				12	12	0
	25,488	25,621	133	1,479	1,518	39
	53	53				
	0	0				
	0	0				
	53	53				
	25,541	25,674	133	1,479	1,518	39

(2)

22

23

2

22

3

表2 平成22年度末 市町村立学校教職員人事異動集計表

	635	2,371	433	23	12	5	19	572	108	9	115	4,302
	333	1,286	268	28	10	4	30	279	54	4	64	2,360
	62	152	2	3	3	0	0	60	5	0	4	291
	1,030	3,809	703	54	25	9	49	911	167	13	183	6,953

表3 平成22年度末 市町村立学校教職員退職状況

21	(A)	325	348	234
22	(B)	389	422	219
	(B) (A)	64	74	15
				907
				1,030
				123

2 県立学校教職員定数と人事異動

(1)

21 22 4

(2)

22 23 5 6

23 7 67

7 74

表5 平成22年度末及び平成23年度当初人事異動状況

	21	11	1	126	159	41	12	84	49	13	440	639	67
	2	1		28	31	11	1	11	3	1	101	128	7
	23	12	1	154	190	52	13	95	52	14	541	767	74
	17			25	42	65					100	165	18
	52		1	179	232	225		52	14		641	932	92

表6 平成22年度末 県立学校教職員退職状況 (23.3.31付退職)

	22	10		102	4		13	5	36	192	
		1	1	24		1	1	1	6	35	
		1		1						2	
( + + )	22	12	1	127	4	1	14	6	42	229	

県立学校教職員条例定数比較表

学 校		通 信 制		計		特別支援学校			県立学校計			
22年度 条 例	21年度 条 例	比 較	22年度 条 例	21年度 条 例	比 較	22年度 条 例	21年度 条 例	比 較	22年度 条 例	21年度 条 例	比 較	
			94	96	-2	20	21	-1	117	120	-3	
2	32	32	0	5018	5020	-2	1186	1161	25	6255	6232	23
0			151	153	-2	32	34	-2	186	190	-4	
						6	4	2	6	4	2	
			361	363	-2	34	28	6	395	391	4	
						175	178	-3	175	178	-3	
	32	32	0	5624	5632	-8	1453	1426	27	7134	7115	
						11	13	-2	11	13	-2	
	5	5	0	356	354	2	60	59	1	419	416	3
			97	98	-1				98	99	-1	
			5	9	-4				5	9	-4	
			316	333	-17	67	83	-16	386	419	-33	
5	5	0	774	794	-20	138	155	-17	919	956	-37	
37	37	0	6398	6426	-28	1591	1581	10	8053	8071	-18	

表7 平成22年度当初 県立学校教員採用状況

22 4 1

	12				12
	4				4
	18				18
	4	1			5
	4	1		1	6
	3	1			4
		1			1
	1				1
	8				8
	7	1			8
	5	2			7
	66	7		1	74

3 教職員の服務

4 分限・懲戒処分

22

			3	1			4
				1	2	1	4
			3	2	2	1	8

5 争訟事件

22

( )							
( )					22 6 1		
15 ( ) 12							
17 ( ) 36							
18 ( ) 23							
20 ( ) 211							
20 ( ) 238							
19 ( ) 24171					22 6 15		
21 ( ) 3751							
22 ( ) 990							

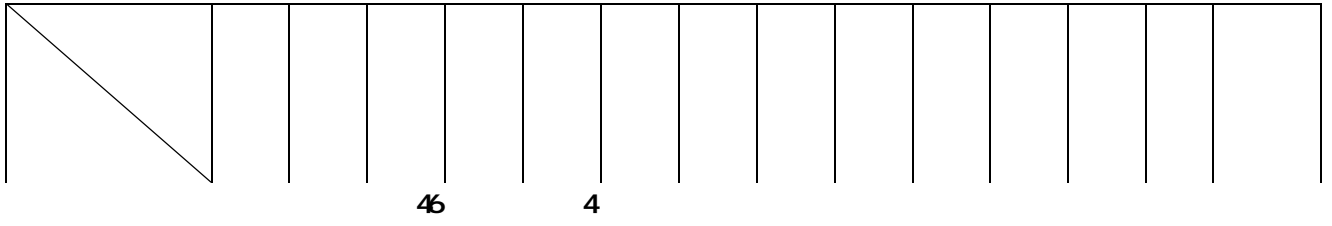
6 免許と資格

(1)

22

平成22年度 免許状授与件数

904	1,647	2,426	325	3,203	210	143	8,858			





平成 22 年度 福岡県教育職員免許法認定講習一覧表

		B1		1	100	8/16, 17		
		C1		1	100	8/18, 19		
		D1		1	80	8/23, 24		
		A1		1	80	8/11, 12		
		C2		1	80	8/18, 19		
		B2		1	80	8/16, 17		
		B3		1	80	8/16, 17		
		A2		1	100	8/11, 12		
		C3		1	80	8/18, 19		

		A3		1	30	8/11, 12		
		B4		1	30	8/16, 17		
		A4		1	30	8/11, 12		
		C4		1	30	8/18, 19		
		C5		1	30	8/18, 19		
		B5		1	60	8/16, 17		
		A5		1	40	8/11, 12		
		B6		1	40	8/16, 17		

			D2		1	80	8/23, 24	
			O6		1	80	8/18, 19	
			B7		1	80	8/16, 17	
		1	A6		1	80	8/11, 12	
		2	D3		1	80	8/23, 24	
			B3		1	80	8/16, 17	
			C7		1	80	8/18, 19	
			A7		1	120	8/11, 12	

7 教職員等の研修

(1)

平成 22 年度 研修会実施

				4 21 5 20 6 2 7 21 10 20		118
				4 21 5 12 5 26 8 25 10 20		48
				4 23 5 7 5 21 7 2 7 23 8 27 9 10 10 4 11 12 11 26 12 10 1 21		39
				4 1 ( )		50
				2 ( )		48
				4 27		50
				5 25 (1 ) 6 23 (1 ) (1 ) (1 )		182
				6 23 11 30		59
				(2 )		238
				(1 ) (1 )		
				5 27 6 16 9 29 10 26		31
10				(5 ) 10 (6 )		183

10		5 19 6 9 7 7 9 22 10 13 11 24 12 8		109
		10 4 5 1		
		7 4 25 5 18 6 18 7 22 7 23 9 28 10 27		6
		11		6
				6
		( )		0
		( ) 2		13
		( ) 5		
		( )		1
10		( ) 3		6
		( )		3
		(3 )		150
		4 20 6 3		45
		(3 )		89
		4 14 7 29		37
		( )		76
		5 27 8 24 10 22		76
		5 20 8 23 10 15		81
		5 11 7 21		11
		5 20 21		27

		4 14 15 9 9 1 14		351
		5 27		122
		(2 )		68
		4 23		39
		(2 )		175
		5 24		98
			1 20	672
			1 19	
			1 26	
		6 11	(1 )	44
		5 11		38
		7 8		14
	( )	7 21		31
	(	12 24		87

		2 21		60
	) (	4 26 28		24
		9 28		286
		8 24 11 2		19

平成 22 年度 長期研修派遣状況

		1	1			1	
		2	6	1			5
		1	24	12	12		
			6			6	
			3	1	1	1	
		2	1			1	
		(11 )	26	5	3	7	11
		(19 )	28	8	9	10	1
( ) ( )		2 4	9	3	6		
		2 ( )	1 (3)	1 (3)			
		2 ( )	11 (10)	7 (7)	2 (2)	2 (1)	
		2					
		3	10	2		8	
		6	7	3		4	
		12	10	5	5		
		2	36	18	11	7	
		1	2	2			



(2) 2 62  
 3 4  
 ( ) ( )  
 ( ) 1  
 ( ) 74 32 29 ( )  
 ) 2

平成 22 年度主要調査実施状況

		1	2	3	
		74	48	26	0
		100	48	52	0
		32	22	10	0
		42	22	20	0
		29	12(11)	13(11)	4(2)
		50	12(11)	26(22)	12(6)
		2	2	0	0
		2	2	0	0
		137	84	49	4
		194	84	98	12

( )  
 ( ) 170 14

## 第2節 教職員の健康管理

### 1 健康診断

22

(1)

			2
	14,694	469	14,172
( )	8,424	279	8,117
1	6,205	99	6,008
	1,167	29	1,138
	1,580	52	1,476
	32,040	928	30,911

1

2 X

(2)

	0	
	24	
VDT	91	
	7 ( 1 )	

### 2 教職員の休職状況(新規休職者数一覧)

	20	21	22	20	21	22	20	21	22	20	21	22
	0	0	0	51	87	75	52	49	58	103	136	133
	0	0	0	52	54	55	10	29	24	62	83	79
	0	0	0	19	11	16	9	5	7	28	16	23
	0	0	0	14	18	17	6	8	9	20	26	26
	0	0	0	136	170	163	77	91	98	213	261	261

### 第3節 教職員の給与

#### 1 給与改定

(1) 22

042

		11,700	8,000	23 1 1
		2,790	2,780	23 1 1
( )		2,790	2,780	23 1 1
		(2)	(2)	23 4 1
( )		1.5	1.25	23 1 1

(2)

6	12	6	12	6	12	6	12
1.25	1.50	0.70	0.70	1.225	1.375	0.675	0.675

2 退職手当

22

平成 22 年度 退職手当支給状況

	229	6,433,376,861	295	7,853,315,019	1,947	730,073,803	2,471	15,016,765,683
	123	3,407,226,974	114	2,963,320,710	1,251	405,088,301	1,488	6,775,635,985
	164	4,509,881,996	26	665,812,146	896	303,941,052	1,086	5,479,635,194
	65	1,832,888,127	22	625,116,439	804	144,417,151	891	2,602,391,717
	8	242,713,760	1	26,646,399			9	269,360,159
	589	16,426,057,718	458	12,134,210,713	4,898	1,583,520,307	5,945	30,143,788,738

## 第4節 教職員の福利厚生

### 1 公務災害等補償

22

(1) 22

	129	8	11		148
	27	4	3		34
	2				2
	158	12	14		184

(2)

	144
	0
	4
	10
	0
	0
	9
	3
	170

(3)

	1	4 6	(2) 3	2	2	6 14

3

### 2 教職員住宅

38

14

#### 住宅管理状況一覧(H23.3.31)

		336

3 公立学校共済組合

(1)

22

17,422,131

9,773,741

(2)

22

19,160,951

21,776,235

19,689,008

66,632,072

(3)

1.32/1000

1.32/1000

1.65/1000

1.65/1000

表1 平成22年度 保健福祉事業実施状況

	40 75 75
	PET
	4

	55

(4) 22 648 1,489,401

(5) 22 1,016,612 2 1,074,040 368,915

4 教職員の財産形成貯蓄

59

22

教職員の財産形成貯蓄加入状況

H23.3.31

12,688	7,443	1,911	21,982

## 第4章 学校施設・設備

### 第1節 小・中学校の施設整備状況

#### 1 保有面積

22 5 1

1

表1 小・中学校保有面積及び構造比率の比較

22		760	10,430	277,096	( )	22,830	3,167,532	70,435	3,260,797	4,170	468,397	134,148	606,715
					(%)	0.7	97.1	2.2	100	0.7	77.2	22.1	100
		345	4,378	134,926	( )	9,469	1,798,794	81,454	1,889,707	36	337,868	50,960	388,864
					(%)	0.5	95.2	4.3	100	0.0	86.9	13.1	100
		765	10,373	279,651	( )	23,878	3,163,878	70,980	3,238,706	4,356	464,741	140,308	609,400
					(%)	0.7							



2 文教施設整備等補助金

22

2

表 2-1 負担金（新增築事業）

	21		22	

表 2-2 負担金（災害復旧事業）

	21		22	

表 2-3 交付金（安全・安心な学校づくり交付金）

	21		22	

第2節 県立学校の施設・設備整備状況

1	校舎の維持、修繕	(		)	
	22				
2	校地の整備				22
3	県立学校施設の整備				22
	4,396,115		723,644		
			240,662		
(1)		2,032,741			
			13 2,068,182		
			14 1,123,948		
13		1 796,842			
		1		1	
	1	1	(	)6 407,143	
(2)					
			5 266,507		
					6
	217,555				
				4	
4	239,582				
(3)					
		1		240,662	

(4)

7 2,032,741

### 第3節 産業教育施設整備及びその他の設備の整備状況

#### 1 産業教育振興法によるもの

22

17

表1 高等学校産業教育設備整備事業

( )

		26	39,519		39,519	
		6	78,658	25,066	53,592	1/3
		32	118,177	25,066	93,111	

#### 2 理科教育振興法によるもの

22

表2 理科教育整備事業

( )

	296	81,460	40,721	40,739	1/2
	148	56,209	28,096	28,113	
	1	139	69	70	
	44	11,364	5,681	5,683	
	4	1,100	352	748	
	493	150,272	74,919	75,353	

#### 3 高等学校の定時制教育及び通信教育振興法によるもの

22

^ > 427.19 60

表3 定時制及び通信教育整備事業

( )

## 第5章 教育研究

### 第1節 教職員の研究活動

#### 1 教育研究団体の助成

22

	332,500
	332,500
	190,000
	47,500
	47,500
	950,000

#### 2 教育研究・科学研究の奨励

22

1		
2		
3	( )	
4		
5		

## 第2節 県教育センターの事業

### 1 概要

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

### 2 調査研究事業

本県の教育課題及び経営課題を解明するために必要となる「専門的・技術的事項」、今後の学校教育の方向性を示す「先進的な事項」について調査研究を行い、手引等の作成や教育センターにおける研修事業等に活用することを通して、調査研究の成果を普及・啓発し、本県における教育活動の充実を図った。

## 平成 22 年度調査研究事業研究主題一覧


### 3 研修事業

#### (1)

福岡県教育公務員の長期にわたる研修に関する規則に基づいて、各地域の中核となる教員として備えるべき資質・能力を習得させ、学校教育に係る喫緊の課題に対応できる人材及び学校や地域における研修を推進する人材を育成した。

平成 22 年度は、県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校から派遣された 47 人が、研修分野別に関係する班に配属され、担当指導主事より助言を受けながら、学校や地域における教育課題に関する主題を設定し、その解決を図るための方法を研究・研修した。

#### (2)

平成 22 年度 基本研修実績(県教育センター主管分)

1 市町村立学校

		3
		3
	2	1
		1
	5	2
	10	5
		5
		1
		1

2 県立学校

		14
	2	2
	5	4
	10	7
		2
		2
		1
		3
		2

11

25

26

5

6

10



(3) ( )

110  
17 " "

6

4

32

30

10

29

11

	105			5B	6 25 ( ) )
	111			15 15	6 30 ( ) 8 10 ( ) )
	114			15 15 1C	7 6 ( ) 8 18 ( ) )
	135			12	7 29 ( ) 8 5 ( ) )
	136			1C	7 27 ( ) )
	137			1C	8 3 ( ) )
	141	A		4C	6 23 ( ) )
	142	B		8C	7 26 ( ) )
	146			2 15 3	7 29 ( ) 9 28 ( ) )
	162			1C 6 4	6 30 ( ) 8 2 ( ) )
	163			15	7 1 ( ) 8 5 ( ) )
	164			15	7 30 ( ) 8 24 ( ) )
	172			3C	8 24 ( ) 8 25 ( ) )
	181			15 15 3	7 8 ( ) )
	201			15 15 3	7 1 ( ) )
	202			4C	6 22 ( ) 10 22 ( ) )
	203			4C	6 22 ( ) 9 30 ( ) )
	204			2C 2C	8 3 ( ) 10 15 ( ) )
	302			3B	6 29 ( ) 8 27 ( ) )
	401			24 12	6 29 ( ) 8 3 ( ) )
	402			2C 2C	9 3 ( ) 10 5 ( ) )
	403			24 12	9 10 ( ) )
	410			16 6 6	7 1 ( ) 8 6 ( ) )
	501	PowerPoint		17 17	10 14 ( ) 10 15 ( ) )
	502			1C 1C	8 26 ( ) 8 26 ( ) )
	503			15 15	6 22 ( ) 7 9 ( ) )
	504			8 8	8 9 ( ) 8 10 ( ) )
	605	A		17 17	8 2 ( ) 8 4 ( ) )
	606	B		17 17	8 2 ( ) 8 5 ( ) )

	607			3 27 10	7 29 ( ) 11 15 ( ) )
	608			3 27 10	7 29 ( ) 11 16 ( ) )
	611			20	6 18 ( ) 10 19 ( ) )

	101			40	6 24 ( ) )
	102	B		40	7 1 ( ) )
	112			20 20	6 18 ( ) 8 20 ( ) )
	121	A		40	6 23 ( ) )
	122	B		40	6 30 ( ) )
	124			30	6 24 ( ) 8 4 ( ) )
	127			20	8 6 ( ) )
	131			30	7 23 ( ) )
	133			20	8 19 ( ) 8 20 ( ) )
	152			20	8 2 ( ) 8 3 ( ) )
	171			2 15 15	10 21 ( ) 10 22 ( ) )
	211			18 18	6 17 ( ) 10 23 ( ) )
	212			25 15	6 29 ( ) 10 19 ( ) )
	213			20 20	7 28 ( ) 10 19 ( ) )
	214			15 15 10	6 25 ( ) 10 8 ( ) )
	304			15 10 5	8 24 ( ) )
	404			5 5	6 24 ( ) 7 9 ( ) )
	405			20 5 5	6 24 ( ) 7 6 ( ) )
	407			30	9 24 ( ) 10 8 ( ) )
	408			20 10	9 24 ( ) 10 13 ( ) )
	505	ICT		10 10 5	10 27 ( ) 10 28 ( ) )
	506	ICT		20 15	6 25 ( ) 8 27 ( ) )
	507			8	8 6 ( ) 8 19 ( ) )
	508			8	6 30 ( ) 7 1 ( ) )
	509	LAN		6 6 6 2	6 15 ( ) 7 5 ( ) )

	510	LAN		6 7	17 6 ( ) )
	601			3 10	8 8 17 ( ) 18 ( ) )
	602			25 7	8 8 17 ( ) 18 ( ) )
	609			2 1	8 8 19 ( ) 20 ( ) )
	610			12	7 8 30 ( ) 5 ( ) )

	103	PISA		5C	7 9 28 ( ) 14 ( ) )
	104	PISA		5C	7 9 28 ( ) 16 ( ) )
	106	PISA		3E	7 9 28 ( ) 17 ( ) )
	107			1C 2C	6 18 ( ) )
	108	PISA		2E 7	7 8 28 ( ) 17 ( ) )
	113			2C 2C	6 8 25 ( ) 17 ( ) )
	115			2C	7 29 ( ) )
	123			4C	7 9 28 ( ) 29 ( ) )
	125			3C	8 25 ( ) )
	126			2C	8 18 ( ) )
	132			2C	6 11 25 ( ) 12 ( ) )
	134			2C	8 11 3 ( ) 9 ( ) )
	143			3C 12	8 8 3 ( ) 10 ( ) )
	144			4C	7 10 27 ( ) 1 ( ) )
	145	UP		15 18 7	7 21 ( ) )
	151			2C	7 10 28 ( ) 29 ( ) )
	153			4 4 5	7 7 22 ( ) 23 ( ) )
	161			1C 1C 1C	8 8 18 ( ) 20 ( ) )
	221			2E 15	7 10 2 ( ) 6 ( ) )
	222			4C	6 7 16 ( ) 1 ( ) 8 9 ( ) )
	223			3C	6 7 16 ( ) 1 ( ) 8 9 ( ) )
	301			2C 1C E	8 8 3 ( ) 4 ( ) )
	303			15 1C E	7 8 6 ( ) 19 ( ) )

	406			24 7 5	10 27 ( ) 10 28 ( ) )
	409			23 15	8 19 ( ) )
	511	USB		6 4 2	8 5 ( ) 8 6 ( ) )
	512			8	8 9 ( ) )
	603			30 12	8 23 ( ) 8 24 ( ) )
	604			18 2	7 22 ( ) 7 27 ( ) )

	231			28 16 3 3	7 27 ( ) )
	232			28 16 4	7 30 ( ) )
	233			24 2 2	6 29 ( ) 7 28 ( ) )
	234	A		26 11 11	7 3 ( ) )
	235	B		26 11 11	8 9 ( ) )
	236			26 11 11	6 26 ( ) )
	237			26 11 11	9 3 ( ) )
	238			28 11	6 18 ( ) 8 5 ( ) )
	239			26 11 11	8 2 ( ) )
	240			26 11 11	8 3 ( ) )
	513			17 12 2	8 4 ( ) )

	191			40	8 26 ( ) 8 27 ( ) )
	192			15 15	8 3 ( ) 8 4 ( ) )
	193			13 2	8 6 ( ) )
	194			6 6 6	7 27 ( ) 7 28 ( ) )
	195			8 8 8	8 3 ( ) 8 4 ( ) )
	196			6 7 2	8 17 ( ) 8 18 ( ) 8 19 ( ) )

	701			20 20	6 15 ( ) 7 27 ( ) )
	702			6 20 20	6 15 ( ) 7 27 ( ) )

平成 22 年度 専門研修(キャリアアップ講座)実績

		(A)		(B)		(B)/(A) (%)
				8	8	
				3,878	2,079	
				1,921	1,292	
				354	311	
				16	8	
				211	135	
	110	4,003	191	6,388	3,833	160

(4) ( )

平成 22 年度 専門研修(スペシャリスト養成講座)受講実績

教科指導スペシャリスト養成講座	62	7
学校教育相談スペシャリスト養成講座	29	13
情報化スペシャリスト養成講座		
ネットワークコース	13	8
ビジネス情報コース	5	8
計測・制御コース	6	8
特別支援教育スペシャリスト養成講座		
特別支援教育コーディネーター (小学校・中学校)コース	21	10
小・中学校特別支援学級 (知的障害、自閉症)コース	14	10
特別支援学校コース	18	17
	168	81

平成 22 年度 専門研修(リーダー養成講座)受講実績

小学校外国語活動リーダー養成講座	18	8
ミドルリーダー養成講座	37	10
情報教育推進リーダー養成講座	12	10
	67	28

#### 4 情報処理教育生徒実習

##### 平成 22 年度 情報処理生徒実習実績

	1	1	107

#### 5 教育相談

##### 平成 22 年度 教育相談延べ件数

	2	0	2
	3	3	6
	5	17	22
	25	44	69
	7	1	8
	92	71	163
	1	1	2
	1	0	1
	9	3	12
	40	12	52
	15	10	25
	38	21	59
	238	183	421

## 6 授業なんでも相談室

平成 22 年度相談実績 (数字は相談件数)

	6	3	1	0	1	11
	90	76	27	2	17	212
	3	4	2	0	0	9
	9	4	1	1	4	19
	5	6	3	0	6	20
	0	1	0	0	0	1
	23	31	5	0	5	64
	3	4	21	6	3	37
	12	10	6	7	8	43
	54	7	21	7	3	92
	3	1	1	2	7	14
	1	3	0	0	3	7
	1	1	1	0	2	5
( )	88	32	13	13	5	151
	22	14	19	2	26	83
	320	197	121	40	90	768

( )

## 7 研究・研修についての広報普及

22

Nb. 179	
Nb. 180	
Nb. 181	



## 4

### 第1節 現状と課題

#### 1 現状と課題

#### 2 平成22年度の重点的取組状況と成果

(2)

1 6 7

## 第2節 社会教育委員

### 1 県社会教育委員の会議

#### 県社会教育委員の一覧


## 2 社会教育委員の研修

### 第 3 節 社会教育主事

#### 1 社会教育主事



## 第 4 節 社会教育事業

### 1 青少年教育

#### 平成 22 年度 青少年団体指導者研修一覧









## 2 成人教育



平成 22 年度 P T A 指導者研修会実施状況


### 3 視聽覚教育



#### 4 社会教育施設が実施する学習情報提供事業

## 5 調査研究事業

## 第5節 社会教育施設

### 1 公民館

表1 政令市・市・町村別公民館数（総数 361 館）











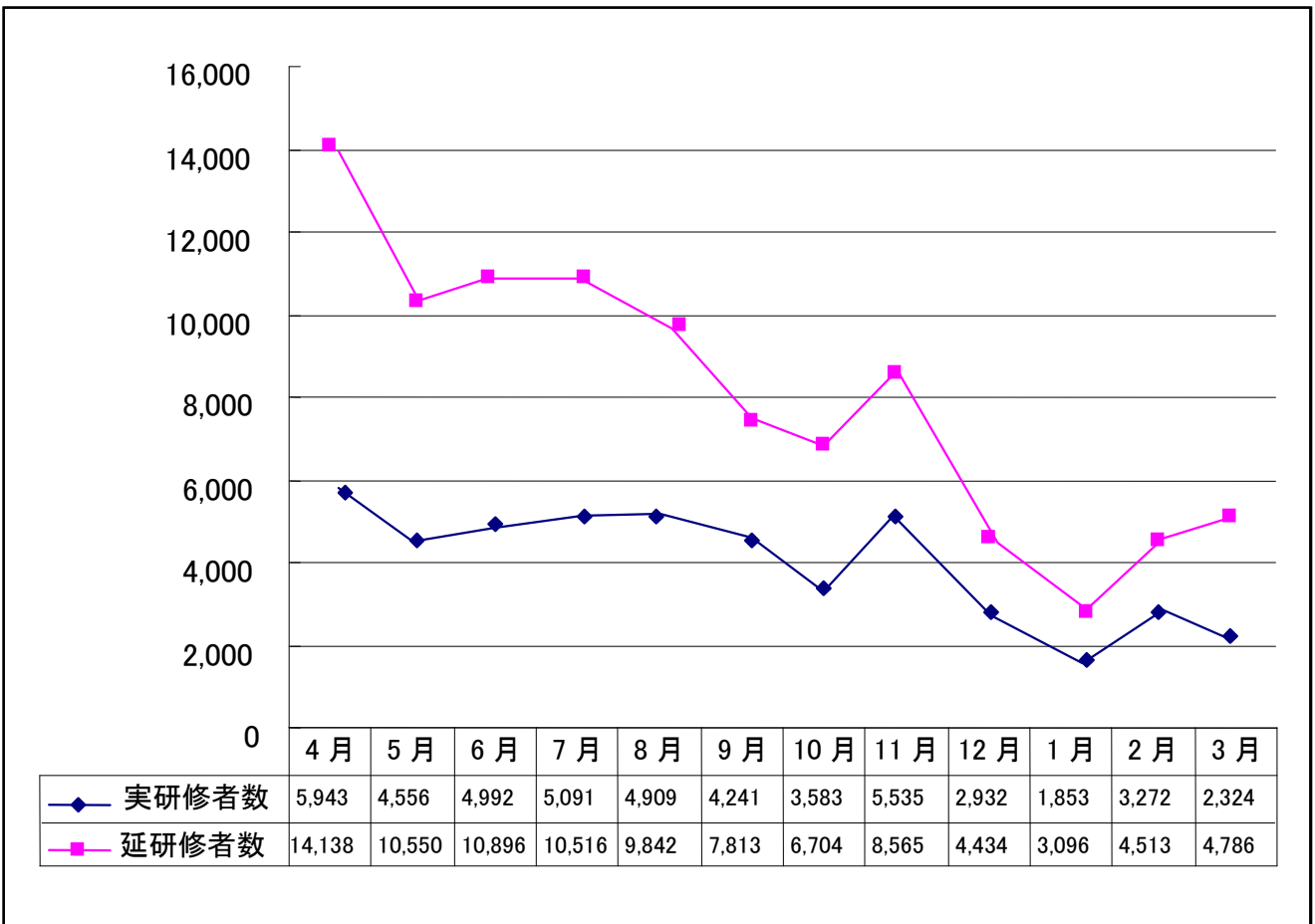

									}
									}
									}
									}









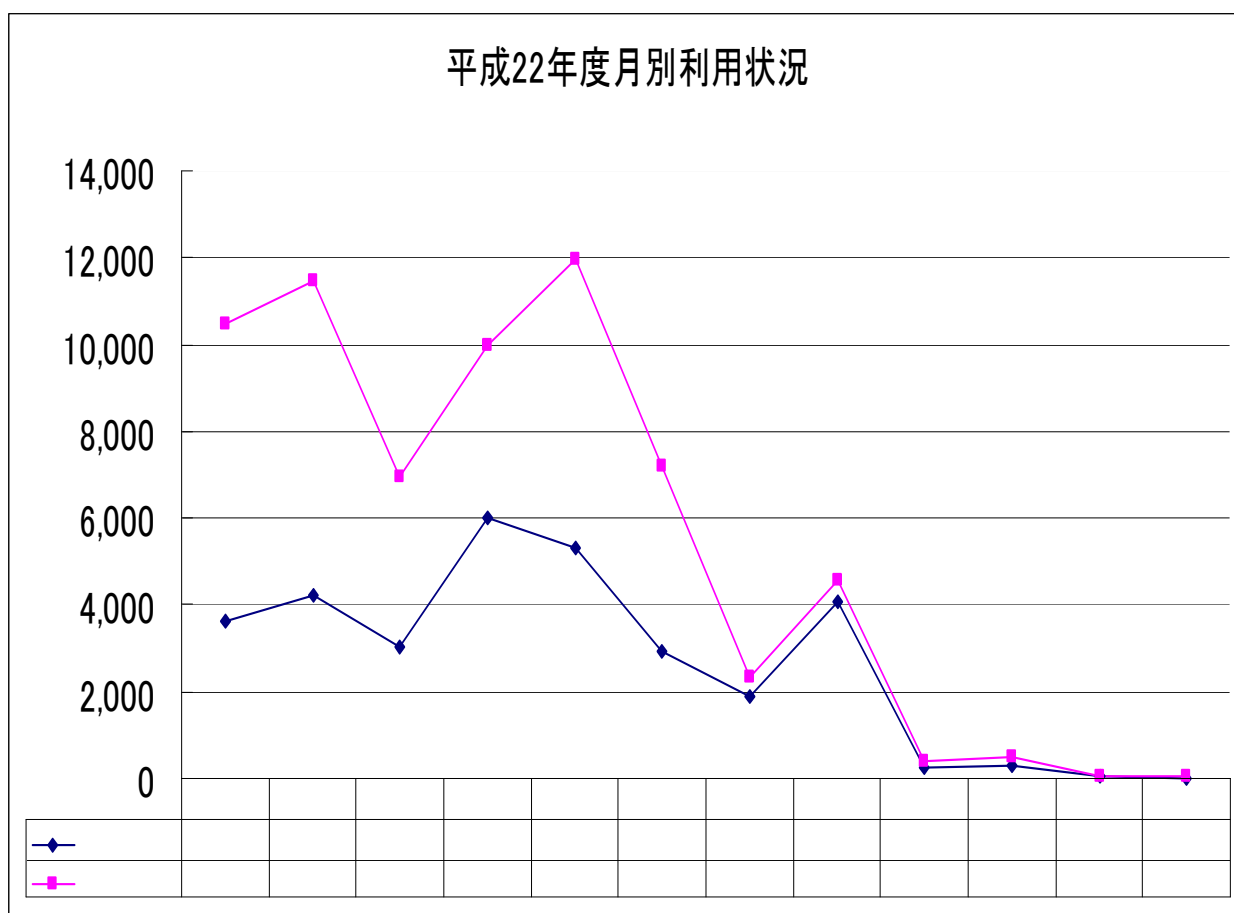



## 5 県立英彦山青年の家

22

平成 22 年度 主催事業実施状況

(

6 県立少年自然の家「玄海の家」

平成 22 年度 主催事業実施状況







7 福岡県青少年科学館

平成22年度 主催事業一覧表


			4 3 8	
			4 3 12	
			7 12 2	
			3	
			8 11 5	
			9 10 5	
			7 27 8 10	
			6 8 4	
			6 2 15	
			6 3 12	
			4 3	
			5 2	
			7	
			8 2	
			7 8	
	10		7	
			10 23 24	
			1 2	



		4	
		6	
	20 Birth DAY		3 6 5 30
			6 5 11 28
			6 5 8 31
			6 8 7 16
			9 4 2 27
			22 3 6 8 31 12 4 2 27
	HAYABUSA BACK TO THE EARTH		8 12 11
			12 4 2 27

--	--	--	--	--	--

9 県立図書館


19

20

22

5

10






		1 15 ( )	( ) ( )	215
		5 1 ( ) 11 6 ( )		14
	( )	11 3 ( )		3
		12 5 ( )		(540 )
		9 26 ( )		26
		10 24 ( )		39
		11 21 ( )		38
		10 17 ( )		14
		6 5 ( ) 7 31 ( ) 9 25 ( ) 10 30 ( ) 11 27 ( ) 1 29 ( ) 3 12 ( )		27 23 33 21 20 22 13
		5 31 ( ) 6 1 ( )		79

		1 21 ( )		39
		9 27 ( )		38 (26 )
		11 29 ( ) 30 ( ) 12 6 ( ) 7 ( )		27 (18 )
		10 25 ( ) 11 8 ( )	(1) -  (2)	31
		10 18 ( )		20
		6 7 ( ) 6 21 ( ) 7 5 ( ) 7 26 ( )		32 ( 127 )
		12 4 ( )		14
		9 6 ( ) 10 4 ( ) 11 15 ( )		27 ( 80 )
	( )	6 14 ( ) 9 13 ( ) 11 1 ( ) 12 20 ( ) 1 17 ( )	4	10 ( 79 )
		2 28 ( )		79

	8 17 ( )		144
	8 23 ( )	:	145
	9 9		92
	10 14 ( ) 10 15 ( ) 10 22 ( ) 11 11 ( )		29 ( 116 )
) (	11 11 ( )		101
	11 11 ( ) 11 19 ( ) 11 26 ( )		145 43
	11 25 ( ) 12 2 ( ) 12 9 ( ) 12 16 ( ) 1 6 ( ) 1 13 ( )	12 16 ( )	14 71
	12 17 ( )	-	( ) 95
	9		14



	12 5 ( )		540
	6 26 ( )	( )  ( )	134
	10 24 ( ) 11 7 ( ) 11 27 ( )		

	11 11 1 14	
--	------------	--

4 1 5 9		
7 20 8 29		
10 26 11 28		
3 15 5 8		

44

	7 28 30 8 11 12 9 14 16 10 20 22		12 ( 34 ) 4
	7 21 23		5 ( 15 )
	8 24 25 8 27 28		3 ( 12 )
	8 16 27		3 ( 30 )
10	8 5 6		2 ( 4 )
	8 16 20		2 ( 10 )
	8 19 23		1 ( 5 )

# 第5部 文化

## 第1節 現状と課題

### 1 現状と課題

近年、グローバル化や情報化という急激な社会の変化の中で、県民一人一人の自主性及び創造性が尊重され、多様な文化芸術の発展が図られるとともに、県民の主体的で多彩な文化芸術活動の展開により、豊かな県民生活と活力ある地域社会を創造することが重要になっている。また、子どもたちへの「心の教育」の重要性が指摘されており、次代を担う子どもたちに、優れた芸術に触れる機会を提供することが課題となっている。

一方、重要な史跡等の文化財を多く抱える本県の文化財保護については、都市近郊で進められる新たな開発や農村部における土地利用の変更といった問題、所有者の世代交代に伴う保護に対する意識の変化、あるいは自然災害が頻発するなど、その保護策を講じることが厳しい状況となっている。また、伝統文化の分野では、技術者、伝承者の高齢化が進み、後継者の人材確保と育成が緊急な課題となっている。

### 2 平成22年度の重点的取組状況と成果

(1) 文化芸術については、平成17年3月に策定された福岡県文化振興プランに基づき、一層の振興を図った。

なお、県の文化行政は、平成17年度以降、一般県民を対象とした芸術文化の振興業務を新社会推進部県民文化スポーツ課（19年度までは生活労働部生活文化課）が、子どもを対象とした芸術文化の振興業務を教育庁社会教育課（19年度までは教育庁生涯学習課）が所管しており、子どもの文化普及事業については、次の事業を実施した。

#### 【文化庁の事業】

- ① 子どものための優れた舞台芸術体験事業（巡回公演事業）
- ② 子どものための優れた舞台芸術体験事業（派遣事業）

#### 【県の事業】

- ① 芸術文化事業県費助成
- ② ふくおか県民文化祭「子ども文化事業」鑑賞・発表事業、芸術体験講座

【福岡県教育文化奨学財団の事業】

① 振興事業「舞台芸術感動体験事業」「特別支援学校等芸術鑑賞事業」

(2) 県立美術館の今後のあり方については、平成20年8月にとりまとめられた「福岡県立美術館将来構想検討委員会」報告を踏まえ、事業内容や施設整備など新しい県立美術館の整備に必要な検討を行った。

(3) 文化財の保存・活用を図るため、次のような事業を実施した。

- ・ 国指定文化財及び県指定文化財の保護事業に対する助成
- ・ 大規模遺跡総合整備事業（大宰府関連史跡の公有化事業に対する助成、重要伝統的建造物群保存地区の保存修理事業への助成、大宰府関連史跡の発掘調査及び修復・整備、大野城跡の災害復旧等）
- ・ 文化財保護指導委員による文化財の巡視
- ・ 国道・東九州自動車道や新幹線建設に伴い必要となる埋蔵文化財発掘調査の受託
- ・ 文化財指導者講習会
- ・ 銃砲刀剣類登録審査
- ・ 九州歴史資料館の運営

(4) 文化財の指定の状況は、次のとおりであった。

- ・ 重要文化財（美術工芸品） 2件
- ・ 重要文化財（美術工芸品）追加指定及び名称変更 1件
- ・ 特別史跡 追加指定 1件
- ・ 史跡 追加指定 2件
- ・ 登録有形文化財（建造物） 6件
- ・ 県指定文化財 新指定 2件
- ・ 県指定文化財 追加指定及び名称変更 1件
- ・ 県指定文化財 一部指定解除 1件

## 第2節 子どもの文化普及事業

### 1 文化庁の事業

#### (1) 子どものための優れた舞台芸術体験事業（巡回公演事業）

##### 【事業趣旨】

学校において、優れた舞台芸術を鑑賞するとともに、芸術文化団体等による事前のワークショップや本番での共演で、本物の舞台芸術を身近に触れる機会を提供した。

##### 【採択状況】

合唱2校（小竹西小、小石原小ほか1校）、オーケストラ6校（北勢門小、宮田光陵中、上庄小、宇島小、片島小、皿垣小）、演劇1校（久山中）、児童劇4校（浮島小ほか4校、南薫小、大石小、私立西南学院小）、ミュージカル1校（竹野小）、歌舞伎4校（大和小、潤野小、唐原小、西吉富小）、演芸5校（井野小、遠賀南中、牛隈小、稲築東中、築上東中）

#### (2) 子どものための優れた舞台芸術体験事業（派遣事業）

##### 【事業趣旨】

学校の文化活動の活性化を図るため、優れた活動を行っている芸術家や伝統芸能の保持者等を学校に派遣し、講話、実技披露、実技指導等を行った。

##### 【採択状況】

15校（古賀西小、舞の里小、千鳥小、粕屋西小、金川小、落合小、杵小、吉田小、大城小、大隈小、添田小、祓郷小、節丸小、豊津小、県立直方養護）

### 2 県の事業

#### (1) 芸術文化事業費助成

##### 【事業趣旨】

本県の芸術文化の振興を図るために、芸術文化団体を助成した。

##### 【助成団体】

(財) 古都大宰府保存協会、(社) 歴史と自然をまもる会、福岡県高等学校芸術・文化連盟  
(社) 福岡県美術協会、福岡県中学校文化連盟

(2) ふくおか県民文化祭「子ども文化事業」鑑賞・発表事業

**【事業趣旨】**

子どもたちに良質な舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、芸術文化に親しむ豊かな心を育むとともに、芸術文化活動への参加意欲を喚起するために実施した。

**【採択状況】**

市町村	会 場	事業内容
筑紫野市	筑紫野市文化会館	人形劇鑑賞
大野城市	大野城まどかぴあ	ジュニアときめき文化祭
直方市	旧県立筑豊高校体育館	のおがた子どもすくすくフェスタ
北九州市	北九州芸術劇場	子ども能楽入門教室&「常盤橋蠟燭能」
朝倉市	ピーポート甘木	芸術フェスティバル
桂川町	桂川町住民センター	ようこそ～華麗なるバレエの世界に～バレエと音楽の鑑賞・体験
福岡市	大濠公園能楽堂	子供能楽教室、発表公演

(3) ふくおか県民文化祭「子ども文化事業」芸術体験講座

**【事業趣旨】**

学校教育活動の中で、児童及び生徒に様々な伝統文化や芸術文化を体験させることを通して、豊かな人間性と多様な個性の育成を図るために実施した。

**【実施方法】**

芸術団体が企画した芸術体験プログラムを事前登録し、そのメニューを小中学校等に提示し、募集する。芸術体験講座事業実行委員会及び福岡県文化団体連合会事務局が実施する。

**【採択状況】**

27校（福岡市6、北九州市4、大野城市1、那珂川町1、岡垣町1、久留米市1、小郡市1、朝倉市1、大牟田市1、筑後市1、みやま市1、八女市1、嘉麻市1、飯塚市2、築上町2、みやこ町1、行橋市1）

### 3 福岡県教育文化奨学財団の振興事業

#### (1) 舞台芸術感動体験事業

##### 【事業趣旨】

小・中学生に最高の舞台において質の高い本物の音楽の鑑賞を通して、調和のとれた情操の涵養と豊かな心の育成を図るために実施した。

##### 【事業内容】

日 時：平成 22 年 11 月 2 日（火）11：00・13：45 2 回公演

会 場：アクロス福岡シンフォニーホール

内 容：九州交響楽団による演奏

##### 【事業参加対象者】

県内の小学校 4～6 年生、中学校 1～3 年生の児童・生徒及び教職員

##### 【採択状況】

40 校（福岡市 16、宗像市 2、宇美町 1、岡垣町 2、久留米市 1、朝倉市 2、柳川市 1、八女市 1、嘉麻市 2、行橋市 1、みやこ町 4、上毛町 3、荇田町 1、私立 2、県立 1）

#### (2) 特別支援学校等芸術鑑賞事業

##### 【事業趣旨】

県内芸術文化団体を特別支援学校に派遣して公演を実施した。

##### 【実施方法】

特別支援学校 23 校で弦楽、マリンバ、声楽、演劇等の公演を実施した。

### 4 その他の事業

#### (1) 福岡県高等学校芸術・文化連盟の主な活動

- 第 25 回福岡県高等学校総合文化祭の開催

平成 22 年 9 月 19 日～平成 22 年 12 月 19 日の間に、筑後地区を中心に開催した。

- 第 34 回全国高等学校総合文化祭（宮崎大会）への参加

平成 22 年 8 月 1 日～平成 22 年 8 月 5 日の間に、宮崎県で開催され、18 部門に参加した。

- 第 8 次国際交流事業への参加

平成 22 年 8 月 17 日～平成 22 年 8 月 21 日の間、ベトナム社会主義共和国ハノイ市において、チュウバンアン高等学校と交流し、5 部門 22 名の生徒が参加した。

(2) 福岡県中学校文化連盟の主な活動

- 第10回全国中学校総合文化祭福岡大会（第8回福岡県中学校総合文化祭）の開催

平成22年8月20日～平成22年8月21日の間に、大野城市・大野城まどかぴあにおいて開催した。



### 第3節 県立美術館の事業

#### 1 県立美術館

##### (1) 県立美術館協議会委員

平成22年度の委員会は次のとおりである。

氏名	職名
※ 吉 武 弘 喜	九州造形短期大学長
合 原 康 次 郎	大宰府市立大宰府中学校校長
後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
木 ノ 原 元 美	飯塚市地域活動指導員
古 賀 弥 生	アートサポートふくおか代表
古 野 靖 弘	福岡県美術協会理事長
本 田 光 子	九州国立博物館学芸部博物館科学課長
味 酒 安 則	太宰府天満宮宝物殿主管
武 藤 英 治	福岡県議会議員
本 園 眞 弓	柳川市教育委員会教育委員

※会長

##### (2) 概説

当館の特色は「見る美術館」から「知り、使う美術館」への転身であり、軽やかな「美術と遊ぶ美術館」を志向していることである。そこは、県民と美術文化との出会いを促す、親しみやすい雰囲気を持った開かれた美術活動センターであり、広い視野に立つ県民の創作発表の場であり、美術情報センターである。このような観点に立ち平成22年度は次の活動を行った。

##### (3) 県立美術館主催美術展

###### ア 郷土の美術をみる・しる・まなぶ vol.2 小石原焼と小鹿田焼

###### いとおいしいやきものたち

福岡県東峰村の小石原焼と大分県日田市の小鹿田焼は、飛び鉋、刷毛目、櫛描、打ち掛けなどの技法を特徴とする民陶である。小石原焼の起源は17世紀にまで遡るといい、招かれた肥前伊万里の陶工の窯とその地にもともとあった高取焼とが交流することで生まれた。そして小鹿田焼は、その小石原から陶工を招き、登り窯を築造して18世紀に誕生した。つまりふ

たつの窯は兄弟窯と言える。ともに生活雑器をつくる民陶の窯として、かつて柳宋悦やバーナード・リーチに高く評価され、昭和40年代の民陶ブームを経ていまなお多くの器を人々の暮らしのなかに送りだしている。

小石原焼では、現在50軒ほどの個人窯がそれぞれの窯の特長を生かしながら現代の暮らしに映える器のかたちをつくっている。他業種との協働により生まれた「小石原ポタリー」や「coccio」といった新たなブランド（プロジェクト）は、その意欲的な取り組みのひとつともいえるだろう。一方、小鹿田では、10軒ほどが主に共同窯を用い、代々長子相続で技術を伝え、外から弟子を取らずに伝統の技を守り伝えていきます。作品に個人銘を入れるのを慎むなど、小鹿田焼のイメージや品質を保つことを重視している。その技は重要無形文化財に指定され、地区全体が「小鹿田焼の里」として重要文化的景観に選定された。

本展は、福岡・九州に息づくふたつの民陶の歴史と魅力を紹介すると同時に、陶工たちが実践する生き方や価値観を学ぼうとする試みであった。

- ・会期 平成22(2010)年10月9日(土)～平成22(2010)年11月28日(日)
- ・入場者 4,148人

#### イ 池田龍雄 アヴァンギャルドの軌跡

1928年(昭和3年)佐賀県伊万里生まれの池田龍雄は、「戦後アヴァンギャルド」世代を代表する先鋭的な画家であり、日本前衛美術史の重要な証人である。山梨県立美術館・川崎市岡本太郎美術館と当館の3館が実行委員会を組織し、共同企画による初回顧展として、戦後から現在に至る60年を超える画業を一堂に紹介することができた。

池田は、15歳で海軍航空隊に入隊、特攻隊員として敗戦を迎えたのち、1948年に多摩造形芸術専門学校(現多摩美術大学)入学。岡本太郎や花田清輝らとの出会いをきっかけに前衛芸術へと傾倒していった。50年代には、絵画におけるルポルタージュの可能性を探るなか、社会風刺と諧謔にみちた独自のペン画シリーズが注目を集め、その後も文学・演劇・映画など様々なジャンルの芸術家と交流し、「製作者懇談会」などグループ活動にも積極的だった。60年代末からは、概念芸術に関心を抱き、自らパフォーマンスも展開。さらに宇宙と生命の深奥を描いた15年に及ぶ連作「BRAHMAN」を経て、82歳の現在も精力的に創作を続けている。

終戦から65年が経過した今、池田の真摯な「アヴァンギャルドの軌跡」をたどり直すことで、現代日本社会のあり方について改めて考える機会を提供できた意義は大きい。

- ・会期 平成23(2011)年1月29日(金)～平成23(2011)年3月13日(日)
- ・入場者数 2,927人

#### ウ 福岡県立美術館所蔵品巡回展「移動美術館展－糸島アートクルーズ」

福岡県立美術館では、平成7年度に開館10周年を記念し、所蔵品巡回展「移動美術館展」が始まった。以後、県立美術館が長年収集してきた美術作品の中から福岡県にゆかりの深い近現代の洋画、日本画、工芸、彫刻の力作を紹介し、県内各地で開催してきた。

その後、平成18年度の高賀市からは、趣旨を新たに「ファーストステップとしての美術館」と設定し、従来の名品紹介に加え、子どもたちにも親しみやすい展覧会づくりを実現してきた。平成22年度は、「糸島市」の合併を記念し、糸島市において移動美術館展を開催した。

今回、開催した糸島市では、これまでの趣旨を継承しつつ、糸島ゆかりの作家を中心に構成し、郷土の美術を深く知ることと同時に子どもたちをはじめ、新市民にも気軽に美術に触れることができる展覧会を目指した。

会場である「糸島市立志摩歴史資料館」は船の形をした外観であるため、1市2町が合併したばかりの糸島市が、明るい未来に向けて出航するイメージで、サブタイトルを「糸島アートクルーズ」とし、展覧会場という海を鑑賞者が船に乗って航行するかのようになり、作品との出会いを楽しみながら学び、本展の名品を鑑賞する中で、郷土の文化や歴史を深く学ぶきっかけとなることを期待した。

このサブタイトルの「糸島アートクルーズ」に合わせ、海をテーマとした作品をなるべく多く出品して構成した。作品キャプションは2種のデザインを用いて、糸島ゆかりの作家とそれ以外判別できるように、外枠の色替えを行い、工夫した。

会期中、関連事業として、ワークショップを2回、音楽イベントを1回、ギャラリートークを2回など、土日を中心に、親子で気軽に楽しめるようイベントを行った。また、会期中に同施設内で地元中学校美術部の合同展覧会を併せて開催した。

団体鑑賞として、糸島市内小学校16校の全6年生が、糸島市所有のバス等を移動手段として、来館してもらうことができた。二丈中学校2年生を含み1,290名が来場した。

- ・会期 平成22年9月18日(土)～平成22年10月11日(月祝)
- ・入場者 2,864人

#### エ 第66回福岡県美術展覧会「県展」

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・グラフィックデザインの7部門について県内から公募し、審査を経て入選・入賞した作品及び福岡県美術協会員の作品を展示した。

- ・会期 1期 9月7日(火)～9月12日(日) 書

2期 9月14日(火) ～9月20日(月・祝) 洋画

3期 9月22日(水) ～9月26日(日) 日本画・彫刻・グラフィックデザイン

4期 9月28日(火) ～10月3日(日) 工芸・写真

・入場者数 10,562人(福岡展) 6,694人(巡回展)

・公募出品数 3,709点

オ 細密画家 プチファーブル 熊田千佳慕展

・共催 朝日新聞社、九州朝日放送

・会期 平成22年5月27日(土)～平成22年7月11日(日)

・入場者数 19,132人

カ ゴーゴーミッフィ展

・共催 朝日新聞社、九州朝日放送

・会期 平成22年10月16日(土)～平成22年12月5日(日)

・入場者数 23,467人

## 第4節 文化財保護

### 1 文化財保護審議会

本県における文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する附属機関として、文化財保護法及び福岡県文化財保護審議会条例に基づき、福岡県文化財保護審議会（以下「保護審」という。）を設置している。

平成22年4月1日現在、保護審は10名の委員及び25名の専門委員で構成されている。

なお、専門委員は、福岡県文化財保護審議会規則により「史跡部会」、「名勝・天然記念物部会」、「有形文化財部会」、「無形文化財及び民俗文化財部会」の4部会のいずれかに属することとされている。

福岡県文化財保護条例により、教育委員会が文化財の指定をするときは、あらかじめ保護審に諮問することとされている。平成22年度は、審議会1回、専門部会5回を開催した。

### 2 文化財の指定

平成22年度の文化財の指定状況は次のとおりである。

#### [国指定]

種別	名称	市町村	指定年月日	備考
重要文化財 (美術工芸品)	奈良三彩壺	太宰府市	平成22年6月29日	
重要文化財 (美術工芸品)	武装石人	八女市	平成22年6月29日	
重要文化財 (美術工芸品)	石人・石盾・石鞞	八女市	平成22年6月29日	追加指定及び名称変更
特別史跡	水城跡	太宰府市 大野城市	平成23年2月7日	追加指定
史跡	津屋崎古墳群	福津市	平成23年2月7日	追加指定
史跡	筑前国分寺跡	太宰府市	平成23年2月7日	追加指定

[登録有形文化財（建造物）]

種別	名 称	市町村	告示年月日	備 考
登録有形文化財 (建造物)	石蔵酒造主倉ほか2棟	福岡市	平成23年1月26日	
登録有形文化財 (建造物)	高橋家住宅店舗兼主屋	福岡市	平成23年1月26日	
登録有形文化財 (建造物)	吉住家住宅主屋	福岡市	平成23年1月26日	
登録有形文化財 (建造物)	浄福寺鐘楼	福岡市	平成23年1月26日	
登録有形文化財 (建造物)	料亭あをぎり本館	田川市	平成23年1月26日	
登録有形文化財 (建造物)	料亭あをぎり新館	田川市	平成23年1月26日	

[県指定文化財]

種 別	名 称	市町村	指定年月日	備 考
有形文化財 (建造物)	旧隈本家住宅	八女市	平成23年3月18日	
有形文化財 (美術工芸品)	石人石馬等（のうち1点）	八女市	平成22年6月29日	一部指定解除
有形民俗文化財	宝満山山岳信仰関係資料	太宰府市	平成23年3月18日	追加指定及び名称変更
名勝	英彦山顕揚坊庭園	添田町	平成23年3月18日	

指定文化財種目別件数一覧(平成 23 年 3 月 31 日現在)

種 目	国指定文化財			県指定 文化財	市町村指定 文化財	合計	
	国宝	重要文化財	計				
有形文化財	建造物		38	38	51	118	207
	絵画		15	15	21	49	85
	彫刻		49	49	60	140	249
	工芸品	6	39	45	52	66	163
	書跡・典籍	1	14	15	1	32	48
	古文書	1	7	8	22	49	79
	歴史資料				4	28	32
	考古資料	6	33	39	99	186	324
	小計	14	195	209	310	668	1,187
無形文化財		2	2	7	9	18	
民俗文化財	有形民俗文化財		1	1	83	157	241
	無形民俗文化財		8	8	69	116	193
	小計		9	9	152	273	434
記念物	史跡	5	78	83	71	212	366
	名勝		5	5	4	9	18
	天然記念物	2	25	27	120	148	295
	小計	7	108	115	195	369	679
合計	21	314	335	664	1,319	2,318	

伝統的建造物群		4	4			4
---------	--	---	---	--	--	---

登録有形文化財		66	66			66
---------	--	----	----	--	--	----

登録有形民俗文化財		1	1			1
-----------	--	---	---	--	--	---

登録記念物		1	1			1
-------	--	---	---	--	--	---

記録作成（無形民俗）		13	13	1		14
------------	--	----	----	---	--	----

注（1）国宝 … 特別史跡、特別天然記念物を含む。

（2）重要文化財 … 重要無形文化財、重要有形民俗文化財、重要無形民俗文化財、史跡、名勝、天然記念物を含む。

### 3 文化財の管理

文化財の所有者又は管理者及び管理団体に対して、日常管理指導を行った。

### 4 大宰府関連史跡の環境整備事業等

史跡の保存・活用を図るため、調査の成果を踏まえて、大宰府関連史跡において、遺構の保存修理及び活用のため整備事業を継続的に実施している。平成 22 年度は、特別史跡大野城跡増長天地区における環境整備事業を行うと同時に、平成 21 年 7 月豪雨にて被災した大野城跡屯水地区、平成 22 年 7 月豪雨にて被災した大野城跡小石垣地区などの災害復旧事業を実施した。

### 5 文化財愛護思想の普及

（1）文化財指導者講習会

① 福岡・北九州地区

○ 期日・会場 平成 22 年 10 月 29 日（金） アクシス玄海

○ テーマ 「海と共に生きる ～受 と 道大 宰 道府



③ 京築・筑豊地区

- 期日・会場 平成 22 年 9 月 30 日（木）  
旧福岡県立豊津中学校講堂思永館（福岡県立育徳館高校）
- テーマ 「豊穰なる学問の風土 ～激動期京築の学びの場～」
- 講師 福岡教育大学 竹本英代氏  
福岡県文化財保護指導委員 城戸淳一氏  
求菩提資料館長 恒遠俊輔氏  
みやこ町教育委員会 川本英紀氏

(2) 福岡県文化財担当職員研修会

- 期日・会場 平成 22 年 10 月 22 日（金）吉塚合同庁舎 702 号会議室
- 報告 1 「GIS を用いた遺跡情報の管理と活用」  
久留米市文化観光部文化財保護課 本田 岳秋 氏
- 報告 2 「文化財写真の保存と活用」  
大野城市ふるさと文化財課 上田 龍児 氏
- 報告 3 「首羅山遺跡の現状と今後」  
久山町教育委員会教育課 江上 智恵 氏
- 事業報告 「日韓古代山城の比較研究-日韓学術文化交流事業報告-」  
福岡県文化財保護課 小澤 佳憲
- 説明 福岡県教育庁総務部文化財保護課 管理係  
文化財保護係  
調査第一係  
九州歴史資料館対策室

(3) 文化財防火デー

第 57 回文化財防火デー(平成 23 年 1 月 26 日)を中心に県機関 3 施設と 56 市町村で国・県指定等文化財の防火訓練や消防設備点検等を実施した。

(4) 九州地区民俗芸能大会

九州地区に伝承されている民俗芸能のうち価値の高いものを一般公開し、その鑑賞を通して民俗芸能の理解と知識を深め、無形民俗文化財としての保存・伝承を図るとともに、併せて上

演芸能の記録を作成することを目的として昭和 34 年から、九州 8 県の持ち回りで毎年開催されている。

平成 22 年度は、基山町民会館（佐賀県基山町）において開催され、福岡県からは那珂川町の岩戸神楽保存会が出演した。

#### (5) 文化財保護強調週間

平成 22 年度（第 57 回）文化財保護強調週間（平成 22 年 11 月 1 日～11 月 7 日）の期間を中心に県及び県機関 4 施設と 27 市町村で文化財愛護思想の普及・啓発とその理解を得るための事業を実施した。

- 県内文化財関連イベント開催情報一覧の作成および配布

#### (6) 文化財保護指導委員

##### ア 配置等

国・県指定文化財の巡回調査及び埋蔵文化財の監視並びに地域住民に対する文化財愛護思想の普及を図るため、旧教育庁出張所の所管区域を単位として 17 名の委員を配置し、国庫補助事業として実施した。

##### イ 文化財保護指導委員会議

- 期日・会場 平成 22 年 6 月 4 日（金）福岡県吉塚合同庁舎

- 報告 「平成 22 年度県指定文化財の指定報告等について」

福岡県教育庁総務部文化財保護課

- 講演 「新宮町の文化財保護の現状と課題」

新宮町教育委員会 社会教育課 西田 大輔

## 6 埋蔵文化財の発掘調査

各種開発事業によりやむを得ず破壊を受けるものを主として下記のとおり発掘調査を実施し、件数は 248 件である。

### ア 市町村実施の調査

- ・単独事業 43 件
- ・受託事業 105 件
- ・国庫補助事業 84 件

### イ 県実施の調査

- ・単独事業 7 件
- ・受託事業 4 件
- ・国庫補助事業 5 件

## 7 銃砲刀剣類の登録

銃砲刀剣類の登録の平成 22 年度の処理件数は、次のとおりである。

- ① 登録件数 306 件
- ② 登録証再交付件数 106 件
- ③ 登録証返納件数 148 件
- ④ 所有者変更届 1,046 件
- ⑤ 製作承認件数 56 件

## 8 文化財保護に対する助成

### (1) 国庫補助事業

平成 22 年度には、次のような補助事業計 103 件が行われた。

- 1 建造物保存修理 5 件
- 2 建造物防災施設 3 件
- 3 美術工芸品防災施設 1 件
- 4 史跡等・登録記念物保存修理 20 件
- 5 天然記念物再生 1 件
- 6 文化的景観保護推進事業 1 件
- 7 発掘調査等 37 件
- 8 埋蔵文化財保存活用整備事業 5 件
- 9 重要伝統的建造物群保存地区・保存修理 3 件 (4 地区)
- 10 重要伝統的建造物群保存地区・防災施設等 2 件
- 11 伝統的建造物群保存対策調査 1 件
- 12 指定文化財管理 (国有文化財) 2 件
- 13 指定文化財管理 1 件
- 14 無形文化財 (重要無形文化財保持団体補助) 1 件
- 15 無形文化財公開 1 件
- 16 民俗文化財伝承活用等事業 2 件

17	民俗文化財調査	0件
18	史跡等買上げ（直接買上げ）	7件
19	史跡等買上げ（先行取得償還）	9件
20	史跡等保存管理計画等策定	1件

(2) 国指定文化財管理事業

平成 22 年度は、防災設備保守点検等 19 件、荒廃防止 4 件の計 23 件について行った。

(3) 県単独補助事業

平成 22 年度は、有形文化財、有形民俗文化財等の保存修理や天然記念物の保護増殖、防災設備保守点検など 29 件について行った。

## 9 九州歴史資料館

(1) 概 要

平成 22 年度は、新施設への移転・開館業務を行う必要があったため 11 月 19 日まで休館とし、6 月末までは太宰府市の旧施設で収蔵資料及び什器の移転準備を行い、7 月から開館日までは資料整理及び開館業務を行った。従って、一部の調査研究業務は中断せざるを得なかったが、大宰府史跡の発掘調査については従来どおり行った。平成 22 年 11 月 21 日の新施設開館に併せて開館記念特別展を開催し、新九歴を披露するとともに文化財に対する関心を深め、文化財愛護思想の高揚と普及に努めた。事業の一環として、「九州歴史資料館研究論集 36」、「九州歴史資料館年報平成 21 年度」、「九歴だより 32・33 号」、「大宰府政庁周辺官衙跡Ⅱ－日吉地区－」、「九州歴史資料館開館記念特別展図録－大宰府 その栄華と軌跡－」を刊行した。平成 22 年度の入館者数は、15,544 人であった。

(2) 協議会・委員会

ア 九州歴史資料館協議会

平成 22 年 7 月 22 日に木下会長他 7 名の委員及び各分館長が出席して開催した。協議では、当館から①平成 21 年度事業報告及び入館者状況報告、②平成 22 年度予算概要について報告し、③平成 22 年度事業計画、④平成 23 年度事業計画（案）等について諮問した。

イ 大宰府史跡調査研究指導委員会

平成 22 年度は 12 月 2・3 日の両日に開催した。一日目は、平成 21・22 年度の大宰府史跡

調査研究事業、九州歴史資料館の移転・開館事業の報告を行い、開館記念特別展の観覧と大宰府史跡第 209 次調査地（蔵司跡）の現地視察を行った。二日目は大宰府史跡の調査研究と大野城跡・水城跡の整備事業について諮問し、今後の大宰府史跡の調査研究のあり方や史跡の整備事業における工法について指導・助言を得た。

### (3) 大宰府史跡の発掘調査

平成 22 年度は、大宰府史跡発掘調査第 8 次 5 ヶ年計画の 4 年次に当たる。「大宰府政庁周辺官衙跡・蔵司地区の調査研究方針」に基づき、蔵司官衙跡で発掘調査を実施した。また、史跡観世音寺境内および子院跡の安養院境内推定地内において住宅建設等に伴う届出がなされたため発掘調査を実施した。報告書としては、大宰府政庁周辺官衙跡の本報告書である『大宰府政庁周辺官衙跡Ⅱ－日吉地区－』を刊行した。

#### ア 大宰府史跡第 208 次調査（観世音寺子院跡・安養院境内推定地）

調査地は、史跡観世音寺境内および子院跡の安養院境内推定地内にあたる。住宅建設に伴う確認調査で、8 月 10 日に実施した。対象地にトレンチを 1 ヶ所設定し、重機による掘削を行ったところ現地表面から約 40 cm の深さで地山層に達したが、この地山に掘り込まれたピットを 1 個確認した。埋土はよく締まった暗褐色土であり、古代～中世期の所産と考えられ、安養院に関わる遺構が分布する可能性が高まった。

#### イ 大宰府史跡第 209 次調査（政庁周辺官衙跡蔵司地区）

蔵司地区丘陵上における古代の遺構の確認を目的とした計画調査であり、今回の調査地点は蔵司丘陵南端の下段平坦面にあたり、4 ヶ所に調査区を設定し、人力による掘り下げを行った。調査の結果、A・B・C トレンチにおいて花崗岩の礎石を各 1 個検出した。A・B トレンチの礎石は同一レベルで、約 3m の間隔を有することから一連の礎石建物と考えられるが、第 65 次調査 S B 1560 とは柱筋を揃えるものの比高差が約 1m あることからこれとは別建物とみられる。礎石建物の確認により当該平坦面においても建物が展開していることが判明した。

蔵司関連の調査としては、蔵司丘陵南西部の測量調査、奈良文化財研究所に委託して物理探査（地中レーダー探査・磁気探査）を実施した。また、10 月 30 日と翌年の 3 月 11 日の計 2 回現地説明会を開催したところ、見学者は合計で 222 名に及び太宰府市民をはじめ多くの方々の参加を得た。

### (4) 首羅山遺跡の共同調査

大宰府関連遺跡の調査研究の一環として、糟屋郡久山町教育委員会が平成 17 年度から継続的

に行っている中世山岳寺院の首羅山遺跡の調査に平成 20 年度より共同調査の形で参画している。本年度は本谷地区の解明のため昨年度から引き続き本谷基壇部や周辺域の調査を実施した。その結果、大規模五間堂建物が 13 世紀前半以後の創建であることが確認された。また、遺跡全体の測量調査も西谷地区を中心に行った。

#### (5) 考古基準資料調査

##### ア 南筑後地域における甕棺の調査

平成 21 年度に継続して、みやま市教育委員会所蔵の松延遺跡出土 3 号甕棺南甕の検討を行った。その成果は『九州歴史資料館研究論集 36』に掲載した。

##### イ 国指定史跡津屋崎古墳群 勝浦峯ノ畑古墳出土資料の調査

福津市教育委員会が勝浦峯ノ畑古墳（旧津屋崎 41 号墳）の調査報告書を平成 23 年度に発行するのに併せて、1975 年に福岡県教育委員会が調査を行った同古墳の出土遺物の再整理を行った。

##### ウ 個人所蔵の後漢鏡の調査

今年度から個人所蔵の後漢鏡（獣帯鏡）の借用を行い、今後、資料とその来歴について調査を行う予定である。

##### エ 福岡県収蔵考古資料再整理事業

福岡県が所蔵している資料を適切に保管し、かつ有効に活用するため収蔵資料の再整理事業を行った。事業は国庫補助事業「埋蔵文化財保存活用事業」の一環として、平成 22 年 8 月～23 年 2 月まで行い、特別収蔵庫に収納する重要考古資料及び一般収蔵庫に収納する資料の再整理は業務委託により行った。

#### (6) 歴史資料調査

古代から近代に至る歴史資料を対象として調査を進めている。調査対象は、仏像や絵画、工芸品などの造形遺品、古文書、記録類、墨書や刻書をもつ出土遺物を含む文献資料等である。福岡県域を中心に九州全域を視野に入れた調査を心がけている。

##### ア 主要寺社の調査

##### イ 寺社及び個人所蔵資料の調査

平成 22 年度は久山町で新しく発見された個人所蔵の仏像について調査を行った。仏像は肉眼でも平安時代前期に造像が遡るものと判断されたが、新たに導入した X 線 C T スキャナによる分析調査をおこなった結果、平安前期の典型的な作風と構造が確認された。その調査成果は、『九州歴史資料館研究論集 36』で報告した。また、糸島市専光寺所蔵の銅造地藏菩薩立像及び

長崎県平戸市下寺観音堂の薩摩塔の調査も行った。

#### ウ 文化財の所在確認調査と保護活動

文化財の緊急避難施設として、仏像や神像、仏画等々の受け入れを行っている。平成 22 年度は上述の久山町個人所蔵の仏像を受け入れている。

#### エ 福岡県史編纂史料の受入

福岡県史編纂史料は、これまで福岡県の委託により財団法人西日本文化協会（福岡県地域史研究所）が、調査・研究・収集・整理・公開等を行ってきた。収集史料は古代から近現代に及ぶ福岡県域の歴史に関わる記録資料で、約 15 万点を数える。当館では、これら福岡県史編纂史料を福岡県総務部行政経営企画課から移管を受け、閲覧及びレファレンス業務を引き継ぐこととなった。今後、詳細な調査及び整理を行いつつ、展示室において史料の展示を行う。

### (7) 展示

#### ア 常設展示

平成 23 年 2 月 1 日から第 1 展示室において常設展示を開始した。常設展示については、九州・福岡県の歴史について、旧石器時代から近代までを時間の流れに沿って展示している。これまでは、中世までの考古資料が中心であったが、今回からは近世・近代までを含めた通史的な展示内容となっている。展示資料総点数 701 点で、国指定重要文化財 11 件、県指定文化財 14 件を含む。

第 3 展示室では、ロッカー形の展示ケースに弥生土器、須恵器、瓦を時期別に展示し、時間の流れによって形や調整技法が変化していく様子を展示している。また、引出形のケースには貿易陶磁器などの破片資料を展示しており、資料を手にとる如くまじかで見れるようにしている。

第 2 展示室には旧館で展示していた大宰府政庁中門模型（1/10）を改変し設置した。基本的に第 2 展示室は企画展を行う展示室として活用する予定である。第 4 展示室では、現地で保存することができない遺構を切り取り、保存処理を施したうえで床下に展示している。あたかも地中の遺跡を覗き込み、遺跡を体感できる工夫を施している。

#### イ 特別展示

##### ○ 九州歴史資料館開館記念特別展「大宰府－その栄華と軌跡」

（会期：平成 22 年 11 月 21 日～平成 23 年 1 月 16 日）

開館記念特別展「大宰府－その栄華と軌跡」では、40 年以上に及ぶ大宰府史跡の発掘調査や仏教美術調査をはじめ、九州歴史資料館がこれまで行ってきた調査・研究の成果を一堂に紹介するとともに、発掘調査で明らかになりつつある古代九州の実像に迫った。展示品は国宝福岡県宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品を初めとして 408 点（国宝 2 件、重要文化財 11

件、重要美術品 1 件、県指定文化財 4 件含む) の展示を行った。

会期中の入館者は 1 万人を上回り、入館者 1 万人を記念したセレモニーも行った。併せて本展に関連して開館記念講演会「展望・大宰府研究－蔵司の調査から－」(会場：九州国立博物館)、記念シンポジウム「大宰府と西海道－古代の役所と人々の暮らし」(会場：小郡市文化会館)、特別展講座「大宰府の発掘」・「大宰府の仏像」(会場：当館) を開催し、延べ 854 名の参加者を得た。

#### ウ 企画展示

- 第 1 回企画展示「九州歴史資料館ができるまで－文化財をまもる収蔵庫はどのようにしてつくられたか」

(会期：平成 22 年 11 月 21 日～平成 23 年 4 月 24 日)

本展示では、博物館施設の中でとりわけ重要視される特別収蔵庫の建設を取り上げ、その建設過程を紹介するとともに収蔵庫の機能を紹介し、博物館が文化財を未来へ伝えていくために行っている取り組みについて理解を促進するものとして行った。

### (8) 文化財の保存処理

#### ア 金属製遺物の保存処理

平成 22 年度は、当館の移転開館および新規の機器整備に伴い、昨年度の残務を除き、処理を中断した。来年度、新たに整備した機器により保存処理を再開する。

#### イ 遺構の保存

新九州歴史資料館第 4 展示室における展示資料とするため、飯塚市嶋廻遺跡(飯塚市教育委員会調査)の甕棺、大宰府史跡出土筏状遺構および製銅炉、日永遺跡銅矛・銅戈出土土壙について保存処置を委託により行った。また、みやこ町下原七反田遺跡(県文化財保護課調査)において検出した官道の断面土層剥ぎ取り作業を行った。

#### ウ 美術工芸・古文書・典籍・歴史資料の保存処置

県総務部行政経営企画課より移管されることとなった福岡県史編纂史料について、簡易的な保存状況調査を行った。調査の結果、化学的な変化、化学的・物理的損傷が見られたが、特にカビの被害が認められたため、酸化エチレンガスによる処置を行った。

#### エ 新九州歴史資料館における保存環境整備に関する取り組み

平成 22 年 11 月の開館を目指して、平成 21 年度からシーズンング作業に入っており、汚染物質除去、空気質の調査を行った。(独)東京文化財研究所の協力で、特別収蔵庫および展示室の精密な空気質の調査を行った。



#### オ 各種文化財の保存対策

近年みられる有害生物被害への対策として、温湿度等の保存環境調査を開始した。調査対象は、南湊寺収蔵庫（朝倉市）、個人宅収蔵庫（八女市）の2件で、それぞれ収蔵庫内外に数ヶ所の測定地点を定め、データログを設置した。

#### カ 各種文化財の科学的調査

苅田町内に伝世する仏像の像底に施された墨書銘の解読のために、赤外線撮影システムを苅田町歴史資料館に持ち込み、当館の美術工芸担当とともに調査を行った。

#### キ 外部機関への協力

九州国立博物館において開催された「ミュージアム IPM 地域協力者会議」に地域協力者として出席した。また（独）奈良文化財研究所主催の「第4回 木簡の情報解読・発信・保存・活用に関するワークショップ」に出席し、開館特別展における木簡の展示について発表を行った。

#### ク 研修など

（独）東京文化財研究所実施「平成22年度保存担当学芸員フォローアップ研修」を受講した。

### (9) 普及事業

#### ア 講座

##### ○ 館長講座

西谷館長による12回の連続講座を開講した。平成22年度のテーマは「アジアの中の福岡・九州」で、総数1,051名の参加があった。

##### ○ 九歴講座

常設展開始後の2月から再開した。3分館から講師を招くとともに分館へも講師を派遣し、連携強化に努めた。5回開催し、現地説明会参加者を合わせると総数690名の参加があった。

#### イ 体験学習・バックヤード解説

「古代体験」をテーマに体験アイテムを活用した体験学習を土・日・祝日に提供するとともに中庭から文化財の整理・修復作業がみられるバックヤード解説を九歴ボランティアが運営の中心となり、行っている。古代体験のメニューとしては、瓦拓本取り、瓦マグネット作り、和同開珎鑄造体験、古代衣装の試着、土器パズル組立、大宰府政庁模型の組立がある。古代体験の参加者総数は3,851名にのぼる。

## ウ 開館周知事業

### ○ 九歴体験講座－君も学芸員－

小学4～6年生及びその保護者・兄弟を対象とした体験講座を9月25日（土）に開催した。内容は瓦の拓本取り、土器の写真撮影、製図、土器洗いを体験し、施設見学も行った。152名の応募があったが、抽選により61名を受講生とし、九歴ボランティアの補助のもと体験を行った。

### ○ 施設見学会

新施設近隣の住民を対象とした施設見学会を10月21・23日の二日間実施し、274名の参加者を得た。

## エ 学習支援活動

学校教育との連携を図るため、新学習指導要領に対応する学習プログラム・体験学習の提供、職場体験受入等について教育長会・校長会で概要説明を行うとともに「教育普及だより」を近隣市町の小中学校教師へ配布し、当館の利用促進を図った。

来館学習は、開館後の対応ということもあり7校の利用にとどまるが、小学校の利用が以前に増して増加した。職場体験は中学校7校で、学芸業務・調査業務など歴史系博物館の神髄に触れる内容を提供した。

一般の来館学習は、69団体に対応し、遠方からの視察等も多く、開館効果があらわれた。館の概要説明および施設案内を中心として行った。また、デイサービスの利用では、九歴ボランティアの支援を受けて古代衣装の試着体験を提供した。

## オ 大宰府発見連続出前講座

平成20年度より実施しているものであるが、今年度は新施設への移転開館業務もあり、対応可能な7回で太宰府中学校へ職員を派遣し、大宰府史跡に関すること、文化財保護に関すること、九歴の業務に関する連続出前講座を行った。本年度は他の学校への出前授業は行わなかった。

## カ 放送大学面接授業「大宰府講座（通史編2）」

当館では、大宰府の歴史・文化を幅広く人々に知っていただくという趣旨のもと、平成19年度から放送大学教養学部の面接授業を実施している。今年度は昨年度実施した「大宰府講座（通史編）」に引き続き「大宰府講座（通史編）2」として1月15・16日の両日に授業を行った。1日目は座学で、2日目は大宰府史跡の巡見を行い、筆記試験も実施している。受講者数は42名であった。

## キ ホームページ

11月にリニューアルし、従前の内容を充実させるとともに発掘情報・県史編纂史料・ボランティアに関するページの新設とともに英語・韓国語・中国語のページも設けた。また、パソコンだけでなく、携帯電話からのアクセスにも対応可能とした。完全リニューアル後、情報更新を10回行い、最新情報の提供に努めた。年間アクセス数は11万回を超えている。

## (9) 実習・研修

平成22年度は、太宰府市から小郡市への移転再整備に伴う臨時休館のため、例年受け入れている博物館実習、教員研修、高校生インターンシップ研修のいずれも受け入れを中断した。次年度から再開予定である。

## (10) 九州歴史資料館の移転開館について

新施設の建設は、平成20年度に着工し、建物は平成21年6月に完成した。その後は館内環境を整えるとともに、保存科学機器・特別収蔵庫・図書収蔵庫移動書架等を整備し、展示・教育普及工事に着手した。また、植栽工事や三沢遺跡内の散策路整備、案内板設置などの周辺環境の整備も行った。そして、平成22年11月20日に九州歴史資料館の開館記念式典が行われ、翌21日に開館を迎えた。

ア 設置場所 小郡市三沢 5208-3

イ 敷地面積 約 35,000 m<sup>2</sup> (周回通路含む)

ウ 施設概要 延べ床面積 約 9,000 m<sup>2</sup>

本館 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 2階建

展示室、図書閲覧室、研修室、会議室、保存科学諸室、文化財整理諸室、特別収蔵庫、図書収蔵庫、調査研究室、写真室、文化情報広場などを配置

伝統的な日本建築の雰囲気を持つ建物外観

一般収蔵庫棟 鉄骨造

木器保存処理室・一般収蔵庫

エ 建築工事費 約 36 億円 (本館棟・一般収蔵庫棟)

オ 建築工事竣工 平成 21 年 6 月

カ 九州歴史資料館条例の一部改正に基づき小郡市に移転設置

# 第6部 体育・スポーツ及び健康教育

## 第1節 現状と課題

### 1 現状と課題

#### (1) 体育・スポーツの振興について

現在、県教育委員会所管として学校体育の充実、競技スポーツの振興に努めている。

学校体育においては、児童生徒の体力の向上や生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質や能力の育成を図っているが、昭和60年頃の体力のピーク時に比べると低い状況が続いており、引き続き児童生徒の体力を向上させるとともに、自ら進んで運動・スポーツを継続的に行う児童生徒の育成に努める必要がある。

また、運動部活動については、スポーツの楽しさや喜びを味わい、豊かな学校生活を経験する活動であることから、積極的に参加するよう奨励するとともに、生徒の能力・適性・興味・関心等に応じつつ、健康・安全に留意し、適切な活動が行われるよう配慮することが必要である。

競技スポーツの振興については、現在、国民体育大会男女総合成績8位入賞を目標として取り組んでいる。平成22年度は男女総合成績9位という成績を残し、目標達成まであと一步のところまで迫っている。今後も県体育協会や各競技団体等と連携し、競技力の向上に努める必要がある。

#### (2) 健康教育の充実について

薬物乱用、生活習慣の乱れ、性に関する問題やメンタルヘルスの問題、さらには、感染症の問題や不審者による凶悪事件の発生等による安全の問題など、児童生徒が抱える健康に関する現代的課題が顕在化しており、健康的なライフスタイルの実現を目指した学校保健、安全に関する教育の充実が求められている。また食に関する指導を充実させるとともに、学校給食における栄養管理及び衛生管理の徹底を図る必要がある。

### 2 平成22年度の重点的取組状況と成果

#### (1) 体育・スポーツの振興について

平成15年10月に「福岡県スポーツ振興基本計画」を策定し、中・長期的な見通しにたった体育・スポーツの振興に努めている。

学校体育については、子どもの体力向上に関する事業を実施するとともに、県内全小中高校で「体力向上プラン」を作成し、児童生徒の体力の向上及び生涯にわたって運動やスポーツを実施するための資質や能力の育成を図った。また、運動部活動においては、外部指導者を積極的に活用したり、学校体育団体と連携するなどして魅力ある運動部活動の実施や適切な運営等に努めた。その結果、入部率が向上するとともに、全国大会、九州大会等で活躍する生徒が増加している。

競技スポーツの振興については、既に一貫指導システムを構築して選手の発掘・育成を行っている競技団体や、システム構築に向けて体制整備を行っている競技団体があり、今後も県体育協会や各競技団体等と連携して一貫指導システム構築の促進と充実を図るとともに、スポーツ医・科学領域に精通した指導者の養成に努め、平成25年度までの国体男女総合8位入賞という目標達成に向けて取り組んでいる。

(2) 健康教育の充実について

学校における健康教育を推進するために、保健主事研修会、薬物乱用防止教育指導法研修会、食に関する指導研修会、学校安全に関する研修会等、教職員等を対象とした各種研修会を開催し、その結果、健康教育に関する教員の資質や能力の向上を図ることができた。また、性や心の問題を抱える生徒とその保護者、教員に対して性と心の健康相談事業を行うことにより、学校・家庭・地域が連携した指導体制の構築につながった。また、県内で栄養教諭の配置を推進し、学校内における指導体制の整備を図ることにより、食育の充実につながった。

## 第2節 学校体育

### 1 学校体育指導者の研修

#### (1) 県内講習会等

学校における体育・スポーツ活動の充実を図るため、学校体育指導者を対象とした講習会等を開催し、今日的課題を究明するとともに、学校体育指導者の資質向上に努めた。概要は表1のとおりである。

表1 平成22年度 学校体育関係講習会等実施状況

名称	期日	会場	参加人数	内容
公立高等学校 保健体育科 主任会	5月21日	県立 スポーツ科学 情報センター	127	○説明1 ●体育・スポーツ・健康教育をめぐる諸課題について ○説明2 ●体育の年間計画「福岡プラン」について ○講演 ●体育・スポーツ指導者に期待すること
	1月28日			○説明 ●学校における体力向上の取組及び新学習指導要領に対応した「3年間を見通した指導計画」の作成について ○協議1 ●体力向上等をねらった体育・スポーツ活動の在り方について ○協議2 ●新学習指導要領に対応した『3年間を見通した指導計画』作成上の課題
武道指導者養成 研修会	柔道 8月2・3日 剣道・相撲 8月19・20 日	県立 スポーツ科学 情報センター	202	○講義及び実技 ●新学習指導要領における武道学習の在り方 ●新学習指導要領に基づいた単元計画の作成の考え方、学習の進め方 ●武道の伝統的な考え方、行動の仕方、基本技能等 ●特性に基づく学習指導の留意点
運動部活動 指導者養成 研修会	6月26日	県立 スポーツ科学 情報センター	65	○講義及び実技 ●部活動におけるレーニングとパフォーマンス ●部活動におけるトレーニングと怪我 ●自体重を使ったトレーニング実技等

(2) 中央講習会等派遣

文部科学省及び学校教育研究団体などが主催する講習会・研修会に学校現場の体育指導者を派遣し、県内における中心的指導者の養成を図った。また、本県において全国学校体育研究大会が開催され、多くの参加があった。

概要は表2のとおりである。

表2 平成22年度 中央講習会等派遣状況

名 称	期 日	主 催	開催地	参加者
子どもの体力向上指導者養成研修 (西部地区学校体育指導者中央講習会)	5月11日 ～14日	・独立行政法人教員 研修センター  (共催) ・文部科学省 ・高知県教育委員会 ・高知市教育委員会	高知県	小・中・高等学校 教諭等 29名
全国学校体育研究大会 福岡大会	11月18日 ～19日	・文部科学省 ・財団法人日本学校 体育研究連合会 ・福岡県教育委員会 等	福岡県	小・中・高等学校・ 特別支援学校教諭、 指導主事等 526名

### 第3節 スポーツの振興

#### 1 競技スポーツ振興事業

平成22年に実施された第65回国民体育大会は、冬季大会が北海道(スケート・アイスホッケー・スキー)、また、本大会は「ゆめ半島千葉国体」の愛称のもと千葉県において開催され、各地で熱戦が展開された。

本県から参加した677名の選手団は、それぞれの競技種目で健闘し、男女総合成績第9位。また、女子総合成績でも第9位という成績であり、昨年の19位と比較して順位を上げる結果となった。

#### 第65回国民体育大会

男女総合				女子総合			
1位	千葉	2921.5	点	1位	千葉	1325.5	点
2位	東京	2171.5	点	2位	東京	995.5	点
3位	神奈川	1795	点	3位	愛知	852.5	点
4位	埼玉	1754.5	点	4位	神奈川	836	点
5位	大阪	1629.5	点	5位	兵庫	832.5	点
6位	愛知	1578.5	点	6位	大阪	757.5	点
7位	京都	1443	点	7位	北海道	757	点
8位	兵庫	1442	点	8位	京都	709	点
9位	福岡	1437	点	9位	福岡	703.5	点
10位	北海道	1419.5	点	10位	広島	685	点
11位	岐阜	1302.5	点	11位	埼玉	667	点
12位	広島	1266.5	点	12位	岐阜	661.5	点
13位	岡山	1164.5	点	13位	熊本	631	点
14位	長野	1138.5	点	14位	岡山	616.5	点
15位	新潟	1097	点	15位	静岡	600.5	点
16位	山口	1079.5	点	16位	長野	584	点
17位	静岡	1067.5	点	17位	山口	547.5	点
18位	大分	1039	点	18位	群馬	543	点
19位	宮城	1036.5	点	19位	石川	539	点
20位	群馬	1014	点	20位	富山	530.5	点



### 競技別・種別獲得点一覧及び順位

競技名	参加点	男子		女子		計	男女総合 順位	女子総合 順位		
		成年	少年	成年	少年					
スケート	10	21	35	9	10	85	8	11		
アイスホッケー	10	0	0	-	-	10	11	-		
スキー	10	9	0	3	0	22	12	15		
小計	30	30	35	12	10	117				
水泳	10	競泳	9	30	27	4	70	80	11	12
		水球	-	0	-	-	0			
		飛込	0	0	0	0	0			
		シンクロ	-	-	-	0	0			
ボート	10	0	0	0	0	10	36	26		
セーリング	10	22	30	5	13	80	3	6		
カヌー	10	0	0	15	0	25	24	16		
陸上競技	10	7	35	21	15	88	7	7		
サッカー	10	0	0	0	0	10	20	9		
テニス	10	0	0	0	18	28	10	5		
ホッケー	10	0	0	0	0	10	17	12		
ボクシング	10	0	5	-	-	15	23	-		
バレーボール	10	6人制	0	40	0	0	40	50	12	20
		9人制	0	-	0	-	0			
体操	10	競技	0	0	0	0	0	10	21	17
		新体操	-	-	-	0	0			
バスケットボール	10	35	40	0	35	120	2	3		
レスリング	10	8	13	-	-	31	26	-		
ウエイトリフティング	10	33	12	-	-	55	10	-		
ハンドボール	10	0	0	0	0	10	19	13		
自転車	10	6	0	-	-	16	25	-		
ソフトテニス	10	0	5	0	40	55	5	3		
卓球	10	0	16.5	7.5	0	34	4	8		
軟式野球	10	0	-	-	-	10	9	-		
相撲	10	7.5	0	-	-	17.5	11	-		
馬術	10	2	5	9	-	26	18	8		
フェンシング	10	0	0	0	0	10	22	16		
柔道	10	25	35	0	0	70	4	15		
ソフトボール	10	0	0	36	0	46	8	2		
バドミントン	10	0	0	0	0	10	22	15		
弓道	10	0	0	0	0	10	33	20		
ライフル射撃	10	0	5	0	3	18	28	26		
剣道	10	0	12.5	0	35	57.5	5	2		
ラグビー	10	0	64	-	-	74	3	-		
山岳	10	0	0	0	6	16	22	14		
アーチェリー	10	0	0	0	6	16	16	10		
空手道	10	0	6	7	0	23	12	7		
銃剣道	10	24	0	-	-	34	2	-		
クレール射撃	10	0	0	-	-	10	16	-		
なぎなた	10	-	-	15	18	43	4	4		
ボウリング	10	13.5	0	21	1	45.5	10	6		
ゴルフ	10	0	22.5	24	-	56.5	2	1		
小計	370	192	376.5	187.5	194	1320				
合計	400	222	411.5	199.5	204	1437	9	9		

## 2 スポーツ施設

### (1) 県立学校体育施設開放事業

生涯スポーツの普及振興を図るため、県立学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲において、地域住民の利用に供する事業である。

利用状況は次のとおりである。

	利 用 人 数	利 用 回 数	利用団体数
屋内体育施設 (体育館等)	40,442 人	1,447 回	59 団体
屋外体育施設 (グラウンド等)	19,870 人	966 回	77 団体
計	60,312 人	2,413 回	136 団体

### (2) 県立スポーツ科学情報センター(愛称「アクション福岡」)

生涯スポーツ普及振興と競技スポーツの振興を図る本県体育・スポーツ振興の中核的施設として、平成7年6月に開館し、「アクション福岡」の愛称で親しまれている。

各種アリーナ、トレーニング室、研修室及び宿泊室等のスポーツ施設の提供、指導者養成事業、健康体力相談を実施するとともに生涯スポーツの振興や学校体育活動に役立つさまざまな情報を収集・加工・蓄積し提供している。

なお、当施設、県立総合プール、県立総合射撃場、久留米総合スポーツセンターの4施設を指定管理者として、福岡県スポーツ振興公社が管理運営を行っている。

### (3) 県立総合プール

水泳の普及・振興と県民の体位・体力の向上を図るため平成元年5月、福岡市博多区東平尾公園内に設置された。

### (4) 福岡県馬術競技場

馬術競技の振興及び馬術技術の向上を図るため、平成元年3月、糟屋郡古賀町(現在の古賀市)に設置された。現在、指定管理者として福岡県馬術連盟が管理運営を行っている。

### (5) 県立総合射撃場

散弾銃射撃、ライフル射撃等の普及振興及び射撃技術の向上を図るため、昭和61年から平成元年にかけて、筑紫野市に設置された。

### (6) 久留米総合スポーツセンター

昭和49年全国高校総合体育大会の開催を契機に、福岡県並びに久留米市において、久留米総合スポーツセンターが開設された。

体育、スポーツの振興を図るとともにあわせて県民の文化の向上と福祉の増進に寄与することを目的としている。

なお、福岡県の施設である陸上競技場、補助競技場、体育館、テニスコートの4施設と久留米市の施設である野球場、武道館、弓道場の3施設を、福岡県スポーツ振興公社が指定管理者として管理運営している。

### (7) 利用状況

平成22年度の各施設の利用状況は次のとおりである。

平成22年度 体育施設利用状況（年間利用者数）

スポーツ科学情報センター

アリーナ、研修室等	295,473
宿泊施設	9,604
スポーツ医事・健康体力相談	2,362
トレーニング室	84,982
合 計	392,421

総合プール

プール	86,048
アイススケート	33,981
合 計	120,029

久留米総合スポーツセンター

(県施設)	
陸上競技場	57,893
補助競技場	79,351
体育館	74,365
テニスコート	56,912
小 計	268,521
(久留米市施設)	
武道館	52,552
野球場	31,819
弓道場	18,288
小 計	102,659
合 計	371,180

総合射撃場

クレー、ライフル	5,103
----------	-------

馬術競技場

馬場馬術競技場	173
障害馬術競技場	2,376
覆い馬場	1,041
馬場(個人)	365
厩舎	2,203
会議室・研修室	351
合 計	6,509

### 3 福岡県スポーツ振興審議会

本県では、幅広い見地や専門的な視点からの意見を反映しながらスポーツ振興を推進するために、福岡県スポーツ振興審議会を設置し、本県スポーツの振興に関する重要事項について調査審議等をいただいている。

これまで同審議会からは、次のような答申や建議を受けている。

年 月	検 討 内 容
昭和 38 年 10 月	答申「オリンピック東京大会の開催を契機とする本県スポーツ振興方策について」
昭和 38 年 11 月	建議「県営スポーツ施設の設置について」
昭和 55 年 3 月	建議「福岡県の体育・スポーツの振興方策について」
昭和 58 年 10 月	建議「県立総合体育・スポーツ施設の設置について」
平成 6 年 3 月	建議「福岡県の体育・スポーツの振興方策 ～21 世紀に向けたスポーツ振興方策～」
平成 12 年 3 月	21 世紀に向けたスポーツ振興方策についての提言 ～スポーツ施設の整備と指導者養成の体系化～
平成 13 年 5 月	建議「運動部活動の振興方策」
平成 14 年 2 月	答申「福岡県スポーツ振興基本計画の在り方について」

なお、平成 22 年度のスポーツ振興審議会委員は次のとおりである。

種 別	氏 名	現 職	所 属
スポーツ団体	田口 正公	福岡県体育協会副会長	(財)福岡県体育協会
	松永 和生	福岡県体育協会専務理事	(財)福岡県体育協会
	岡松 妙子	福岡県体育指導委員協議会副会長	
	佐藤 靖典	NPO法人福岡県レクリエーション協会専務理事	
	小林 孝子	福岡県家庭婦人バレーボール連盟副理事長	福岡県家庭婦人バレーボール連盟
	砂川 邦子	福岡県なぎなた連盟理事長	福岡県なぎなた連盟
	日下部 基栄	元オリンピック柔道代表	
地域スポーツ関係	井上 登喜男	(財)サニックススポーツ振興財団理事	(財)サニックススポーツ振興財団
	金ヶ江 悦子	総合型地域スポーツクラブ代表	
学識経験者	片峯 隆	福岡大学教授	福岡大学
	早渕 仁美	福岡女子大学教授	福岡女子大学
	田中 浩子	中村学園大学教授	中村学園大学
	中西 純司	福岡教育大学教授	福岡教育大学
県議会関係	縣 喜彦	福岡県議会議員 (スポーツ議員連盟)	県議会
	鬼木 誠	福岡県議会議員 (文教委員会)	県議会
市町村関係	段 美穂子	福岡県市町村教育委員会連絡協議会長	春日市教育委員会
学校関係 (公立)	吉田 英治	福岡県高等学校体育連盟会長	県立北筑高等学校
	波多江 淳二	福岡県中学校体育連盟会長	福岡市立城南中学校
学校関係 (私立)	増田 仰	福岡県私学協会校長部会長	折尾愛真高等学校
行政機関関係	山村 より子	福岡県新社会推進部男女共同参画推進課長	福岡県新社会推進部男女共同参画推進課
合 計 20名 (男性 11名 女性 9名)			

平成 23 年 3 月 13 日 現在

fP%

%

1 22

	) % ) %			
	) % * ( * &			
	%\$ &			
	%% &(			
	) &( )% %			



	%& * %\$		%	









6

&& ) %

	' +	(ž())%				' +	(ž())%
	&%	&ž (&%				&%	&ž (&%
	),	*ž, +&				),	*ž, +&

f\*ž

)%

+

7

&& ) %

	+) +	+) +	%\$\$	&+*ž,, '	&+*ž,, '	%\$\$	
	&()	&()	%\$\$	-+ž\$('	-+ž\$('	%\$\$	
	' +	' +	%\$\$	(ž())%	(ž())%	%\$\$	
	&%	&%	%\$\$	&ž (&%	&ž (&%	%\$\$	
	%\$*\$	%\$*\$	%\$\$	', \$ž +,	', \$ž +,	%\$\$	

fl ž

fHž

fR\$WV ' \$WV

8

&& ) %

fl ž					
fł, -ł , \$ž)) +		\$' &\$	\$' &	(%+)	(&' &+
				(%+)	(&' &+

fl ž %

&&

&'

))

' \$WV

f| 7

)\$

fl

%& WW

9 22

&& ) %

%&, *(z)*-	%& WW	\$	\$	+"+\$	'("\$ \$	(&"\$\$
	%*WW	\$	\$	("\$\$	*-"\$\$	+"\$\$

f| 7

&&

f| 7

%\$

&% ( %

10 22

						5	6%	6&	7		
	?W	&"%	&\$*'	' )\$	&+'	F9	\$' )	\$' )	&	("*	&"
	*&	&"%	f&" )  7	' )\$	&+'	' ,)	\$' )	\$' )	&	("*	&"
	**\$	&\$'\$	&' \$	' )\$	' "\$	%\$	\$' (\$	\$' )\$	&	**\$	&"[
	+)-	&" ,	&" +	' +*	' "(	(%	\$* +	\$* )	'	)" ,	&" -
	, )\$	&" \$	&' \$	(&\$	(" \$	&\$	\$* \$	\$* \$	'	+" )	' [

f| 7

! ' && !

	'ž)\$\$	(ž)\$\$		'ž+\$\$	(ž)\$\$
	'ž)\$\$	(ž&\$\$		(ž%\$\$	(ž*\$
	'ž+\$\$			'ž)),	(ž' (,
	'ž*\$	(ž°\$\$		'ž*\$	(ž&\$\$
	(ž\$\$			'ž, \$\$	(ž)\$\$
	'ž-\$	(ž+\$\$		(ž\$\$\$	(ž+\$\$
	'ž*..			'ž-&	(ž(' *
	'ž-\$	(ž, \$\$		'ž, \$\$	(ž)\$\$
	(ž\$\$\$	(ž*\$		(ž%'	(ž, \$\$
	'ž+\$\$	(ž' \$\$		'ž+\$\$	(ž(\$\$
	'ž+\$\$			'ž*..	(ž&*+
	(ž\$, \$	(ž, , \$		'ž+) \$	(ž' \$\$
	(ž% \$	(ž, +)		'ž+\$\$	(ž(\$\$
	'ž)\$\$			'ž-\$	(ž)\$\$
	'ž, \$\$	(ž(\$\$		(ž\$\$\$	(ž), -
	(ž°\$\$	(ž, \$\$		'ž-%	(ž*)'
	(ž°\$\$	(ž&)		(ž&&	(ž(*+
	(ž°\$\$				(ž(, &
	(ž\$\$\$	(ž)\$\$			
	(ž°\$\$				
	'ž+\$\$	(ž'+%			
	'ž-\$	(ž') \$			
	(ž\$\$+	(ž' %		'ž+' &	(ž(&

fP&L

&& ) %

fl t'

..... \$ ..... %&  
 ..... %, ..... &  
 ..... % ..... &  
 ..... &\*

fl t'

..... %\$ ..... \$  
 ..... %\$ ..... %&  
 ..... % ..... %  
 ..... %+

fp&Ł fl Ł

&& & ž\*+% fp\$, "% Ł

fl Ł	%ž\$+\$ %ž&/\$ (ž- & %) &&ž' , '
fl Ł	' ž& ) &ž%\$ ++& (% *ž& , '
	& ž*+%

D-5

&

! && !

fl £ ..... &ž) \*%  
 ..... \*ž+(-

fl £ &&

	\$	\$	\$	\$
	&	-	&ž- \$	(*)

( )

&&

22

	\$
	+&

( )

&& '\$

(\$

fl £

)	)
fl £	fl % £ fl % £ fl % £

! && !



	&%	&&
	&*ž+,'	&+ž, &&
	&*ž*&\$	&+ž*((
	--"('	--"('
	···%ž)' \$	···%ž--('
	····)'"+	····)'+"&
	···%ž&&&	···%ž)('
	····+'+"&	····+'+"('

( ) 5< 5< 6

22 ( ) 2010/2011


&\$	*ž' , ,	(ž)%	% ,	, %	, ,	5<% 5< 6

8%	(\$ž&+,	' (ž' +%	%%\$	*8&	..	fBfK-%B&kdXak
&&	+ž*, '	*ž%8&	8)	%&	%\$	5<% 5< 6

6

1 調査研究事業

fP&

fB&

%&

fI 7

6

3

3

12

&

8\$

8%

2 研修事業

fP&

3

! 8&\* !

f&l

22

13

**22**

			' & &		
			(		
			+ & ' \$		
			* % %		
			+ % &		

			% %		
			* & '\$		
			)		
			* &&		
			- '\$ %\$ %		
			* %		

			*		
--	--	--	---	--	--

fl 7

%&

%% + & &  
 %& ) & &&

22

1	5	25	1
2	6	22	
3 7			5 2 3
8	9	14	
9	10	5	
10	11	2	
11	1	18	
12	2	22	

%&

\* ' & %  
 %& ) & &&

22

1	5	25	1
2	6	17	
3	8	6	

4	9	14	
5 6	9 10	30 1	
7	10	12	
8	10	13	
9	11	9	
10	11	30	
11	1	18	
12	2	22	

f(£)

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

&& , \*

7

( )

+ & fl £			&% &&
			&% &&
, - fl £ , %\$ fl £			%&&\$

! & \$ !

			)
%\$ fl 七 %\$ % fl 七			· fl 七 · fl 七 · fl 七
%\$ &* fl 七			&&
%% % fl 七 %% % fl 七			..... .....
%% &( fl 七			..... ..... .....
% &% fl 七			%%

# 7

## 第1節 現状と課題

13

(1)

21 3 )  
(2)

(3)

(4)

(



(5)

## 第2節 学校教育における人権教育

### 1 教職員研修事業(学校教育関係)

(1)

1		8/26		56	

1		4/23		115	
2		4/27		64	

3		5/12		196	
4	1	5/21		151	
5		6/22		136	
6		6/30		63	
7		7/9		108	
8		7/13		232	
9	2	10/5		151	

		1	7/28		1,184	
		2	8/24		1,164	
		3	2/22		241	
		1	5/14		25	
		2	6/15		26	
		3	7/23		26	
		4	9/17		26	
		5	10/27		25	
		6	12/8		26	
		7	1/20		26	
		8	2/8		26	

(2)

		4/2		52	
	10	4/28		52	
		5/14		30	
		5/27		15	
		6/3		65	
		6/21		48	
		7/26		173	
		8/18		24	
		8/5		173	
		8/27		183	
		5/12		179	21
		11/1		39	
		11/19		43	
		10/20		30	
		11/10		34	
		10/22		35	
		10/19		31	1

		4/2		23	
		4/22		74	
		4/27		72	
		5/17		16	
	10	5/18		16	
		6/2		146	
		7/29		44	
		8/4		18	
		9/8		71	
		9/10		74	
		11/5		8	
		10/28		94	
		1/27		75	
		1/20		74	

		4/26		123	22
	10	4/27		8	
		5/10		58	22

5/11

29

		6/14		40	
		10/25		18	
		11/ 4		36	
		11/15		40	
		11/29		24	
		4/ 2		16	
	10	4/21		18	
		4/27		139	
		4/28		20	
		5/7		18 9	
		5/18		17	

		5/26		13	
		6/2		<del>282</del>	
		9/10		138	
		10/22		140	
		10/15	A	76	
		11/19	B	68	



		4/2		32	
	10	4/19		17	
		4/22		105	
		4/23		97	
		4/27		10	
		4/28		22	
		5/12		9	
		5/17		25	
		7/2		69	
		8/30		38	
		6/2		210	
		7/22		80	

		11/26		81	
		10/28		50	
		11/17		80	
		11/15		66	

		4/12		16	
		4/23		7	
		4/28		16	
		5/12		15	
		5/13		5	
		5/21		15	
		5/26		68	
		6/2		2	
		6/10		136	
		8/4		71	
		8/5		84	
		8/10		63	
	10	9/29		4	
		9/10		72	

### 第3節 社会教育における人権教育

#### 1 県費補助事業

##### 過去5年間の県費補助事業

17		193 (450 × 1/2)	295 (500 × 1/7)
18		188 (450 × 1/2)	281 (500 × 1/8)
19	10 (500 × 1/10)		
20	29 (500 × 1/10)		
21	34 (500 × 1/10)		
22	34 (500 × 1/10)		

2 職員研修事業（社会教育関係）

(1)

		5/18		48	
		4/27		8	
		7/1		23	
		7/2		22	
		5/13		94	
		4/16		10	22
		2/15		9	22

		7 16		30	
		9 15		27	
		11 5		25	
		1 19		29	
		2 10		25	
		7/9		210	
		7/16			
		2/22		241	NPO

(2)

	PTA	6/22 6/25		370	
		9/17		55	
		10/8		34	
		7/20		35	
		12/20		28	

		6/16		17	
		10/20		18	
		2/15		17	
		7/29		28	
		11/2		40	
		5/27		28	
		2/17		28	



--	--	--	--	--	--

22

4/28

31

		4/26		42	
		2/22		42	
		5/31		12	
		6/11		48	
		7/ 8		30	
		9/14		60	
		10/28		38	
		11/24		60	
		9/ 6		8	
		1/21		26	

		5/10		43	
		6/14		16	
		10/28		43	
		7/20		25	...
		9/1		23	

		4/21		15	
		5/17		20	
		5/31		30	
		9/7		120	
		1/17		120	
		2/25		40	
		4/26		39	
		8/31		38	
		12/10		30	
		3/8		32	
		9/17		53	
		10/15		30	

3 その他の事業

(1) ( )

(2) 7 12

(3)

資料編

1 刊行物一覧

			( )	
		A4 28	6	3,300
		A4 98	22 8	3,500
		A4	23 3	1,500
		A4 192	23 3	300
		A4 224	23 3	300
		A4 425	23 3	300
		A4 274	23 3	300
2		A4 32	23 3	300
21		A4 104	23 3	300
		A4 67	22 12	1,600
		A4 20	23 1	17,000
	strategy	A4 24	23 1	10,800
		A4 59	23 3	200
		A4 41	23 3	900
		A4 29	23 3	430
		A4 210	23 2	800
		A4 70	23 2	950
		A4 259	23 3	100
		A4 8	23 2	4,500
		A4 142	23 3	500
22		A4 8	22 6	250
	72	A4 4	23 3	1,800
		A4 51	22 4	900

			A4 62	22 4	850
			A4 4	3	130
				(9 12 3 )	
		21	A4 36	22 6	1,500
		36	B5 150	23 3	1,100
32			A4 4	22 10	15,000
33			A4 4	23 3	15,000
			A4 160	22 11	2,500
-		-			
		-	A4 210	23 3	500
		-			